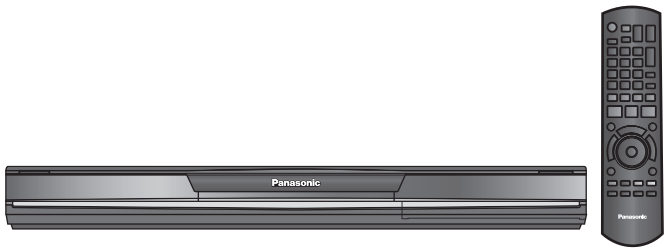
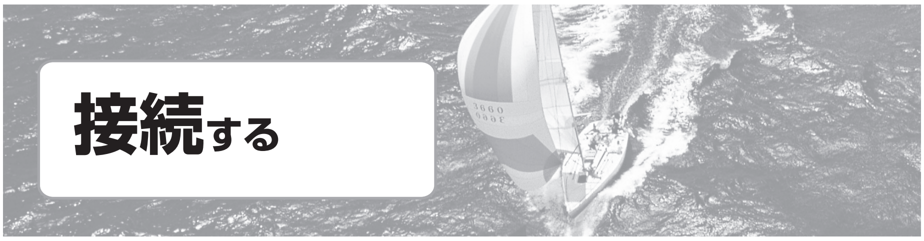
Panasonic®



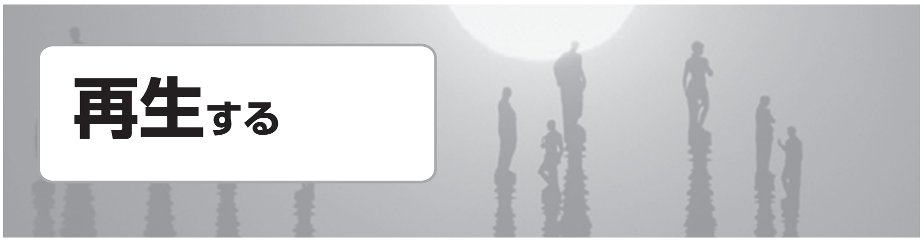
取扱説明書

ブルーレイディスクプレーヤー

品番 DMP-BD60



接続する 6ページ



再生する 14ページ



困ったとき 38ページ

ブルーレイディスク/DVD関連情報（動作確認情報など）は、パナソニックホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/bd/

本機の機能向上などのサポートを受ける場合に必要ですので、必ずご愛用者登録をお願いいたします。
ホームページでご愛用者登録ができます。 詳しくは裏表紙をご覧ください

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

保証書別添付

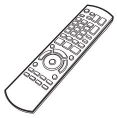
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（47 ～49 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

安全上のご注意
準備
操作
設定
必要なとき

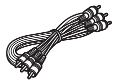
付属品

付属品をご確認ください。

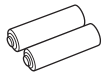
- 付属品をなくされたときは、サービスルート扱いでご用意しているものがありますので、ご注文ください。（品番を記載しているもののみ）
- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

☐ 

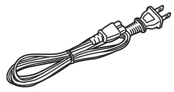
リモコン(1 個)
(N2QAYB000381)

☐ 

映像・音声コード（1 本）
(K2KYYYY00046)

☐ 

リモコン用乾電池（2 本）
単 3 形乾電池

☐ 

電源コード（1 本）
(K2CA2CA00034)

電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

別売品のご紹介

映像や音声を楽しむには

コード / ケーブル名	長さ	品番	コード / ケーブル名	長さ	品番
音声コード	(0.5 m)	RP-CAP3G05	D 端子ピンケーブル	(1.5 m)	RP-CVCDG15
（ステレオ ⟷ ステレオ）	(1.0 m)	RP-CAP3G10		(3.0 m)	RP-CVCDG30
	(1.5 m)	RP-CAP3G15	D 端子ケーブル	(1.5 m)	RP-CVDG15A
	(2.0 m)	RP-CAP3G20		(3.0 m)	RP-CVDG30A
	(3.0 m)	RP-CAP3G30		(5.0 m)	RP-CVDG50A
	(5.0 m)	RP-CAP3G50	光デジタルケーブル	(0.5 m)	RP-CA2005
	(10.0 m)	RP-CAP3G100	（光角型プラグ ⟷ 光角型プラグ）	(1.0 m)	RP-CA2010
映像・音声コード	(0.5 m)	RP-CVP3G05		(1.5 m)	RP-CA2015
（ステレオ ⟷ ステレオ）	(1.0 m)	RP-CVP3G10		(2.0 m)	RP-CA2020
	(1.5 m)	RP-CVP3G15		(3.0 m)	RP-CA2030
	(2.0 m)	RP-CVP3G20	HDMI ケーブル	(1.0 m)	RP-CDHG10
	(3.0 m)	RP-CVP3G30		(1.5 m)	RP-CDHG15
コンポーネント映像コード	(1.0 m)	RP-CVPCG10		(2.0 m)	RP-CDHG20
	(2.0 m)	RP-CVPCG20		(3.0 m)	RP-CDHG30

お手入れには

レンズクリーナー	RP-CL720	ブルーレイ /DVD ディスククリーナー	RP-CL750

付属品、別売品の品番は、2009 年 2 月現在のものです。変更されることがあります。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic
Pana Sense

http://club.panasonic.jp/mall/sense/

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください。（➜47～49ページ）

準備

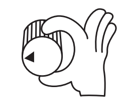
操作

設定

必要なとき

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

本書内の表現について
本書内で参照していただくページを (⇨ ○○) で示しています。

使えるディスク・SD カードについて

市販ディスク

本機では下記の市販ディスクを再生できます。ディスクロゴはディスクやパッケージをご覧ください。

メディアの種類とロゴ	特徴	本書内の表示
BD ビデオ	映画や音楽などハイビジョン画質・最大 7.1ch 音声に対応する市販ソフト ●ディスクに記録された本編以外の副映像などが楽しめる BONUSVIEW™（BD-ROM Profile 1 version 1.1/Final Standard Profile）対応のディスク BONUSVIEW™ ●BONUSVIEW™ の機能に加え、インターネットに接続してさまざまな機能が楽しめる BD-Live（BD-ROM Profile 2）対応のディスク BD LIVE™	BD-V
DVD ビデオ	映画や音楽などの市販ソフト	DVD-V
CD	音楽や音声が記録された市販ソフト ●CD-DA 規格に準拠していない CD(コピーコントロール CD など) は、動作および音質の保証はできません。	CD

記録されたディスク

本機では他の機器で記録した下記のディスクを再生できます。

ファイナライズ済 このマークがあるディスクを本機で再生するには、記録した機器でファイナライズを行う必要があります。
ファイナライズの方法など、詳しくはお使いの機器の説明書をご覧ください。

メディアの種類とロゴ	フォーマット	本書内の表示
BD-RE	●Blu-ray Disc Rewritable Format ●JPEG	BD-V ※2 BD-AV ※3 JPEG
BD-R※1	●Blu-ray Disc Recordable Format	BD-V ※2 BD-AV ※3
DVD-RAM※4 RAM RAM4.7	●VR（DVD ビデオレコーディング）規格 Version 1.1 ●JPEG ●AVCREC ●AVCHD	DVD-VR JPEG AVCREC AVCHD
DVD-R/RW ファイナライズ済 R R4.7 RW	●DVD ビデオ規格 ●VR（DVD ビデオレコーディング）規格 Version 1.1 ●MP3(DVD-R のみ) ●JPEG(DVD-R のみ) ●AVCREC(DVD-R のみ) ●AVCHD ●DivX(DVD-R のみ)	DVD-V DVD-VR MP3 JPEG AVCREC AVCHD DivX
DVD-R DL ファイナライズ済 R R DL	●DVD ビデオ規格 ●VR（DVD ビデオレコーディング）規格 Version 1.2 ●MP3 ●JPEG ●AVCREC ●AVCHD ●DivX	DVD-V DVD-VR MP3 JPEG AVCREC AVCHD DivX
+R/+RW/+R DL ファイナライズ済	●+VR (+R/+RW ビデオレコーディング) ●AVCHD	DVD-V AVCHD
CD-R/RW ファイナライズ済	●CD-DA ●MP3 ●JPEG ●DivX	CD MP3 JPEG DivX

●使用するディスク、記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたにより再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。

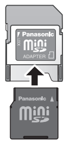
※１ 片面２層（50 GB）のディスク（DL）や、LTH type (⇨ 45) も再生できます。
※２ ビデオカメラでハイビジョン動画（AVCHD）を記録した場合や当社製ブルーレイディスクレコーダー、DMR-BW200 で、ビデオカメラの動画 (AVCHD) をダビングした場合
※３ 2007 年以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで、番組やビデオカメラの動画 (AVCHD) などを記録した場合 (2009 年２月現在)
※４「RAM 2」マークのついた DVD-RAM ディスク（6X 以上の 高速記録対応) も再生することができます。

SD カード

本機では他の機器で記録した下記の SD カードを再生できます。

メディアの種類	フォーマット	本書内の表示
SD メモリーカード※1 (8 MB ～ 2 GB まで) SDHC メモリーカード※2 (4 GB ～ 32 GB まで)	●JPEG ●AVCHD ●MPEG2	JPEG AVCHD MPEG2

※ 1 miniSD カード、microSD カードも使用できます。
※ 2 microSDHC カードも使用できます。
本書では上記の表のカードを「SD カード」と記載しています。



- miniSD カード、microSD カード、microSDHC カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  http://panasonic.jp/support/bd/
- 4 GB ～ 32 GB の SD カードは、SDHC ロゴのある SD カードのみ使用できます。

- 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカード、および FAT32 形式でフォーマットされた SDHC メモリーカードに対応しています。
- 使用可能領域は、表示容量より少なくなります。
- SD カードをパソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。
- SD カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、SD カードの内容を誤って消去することを防げます。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い
本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。
メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

リージョンコード・番号について

BD ビデオのリージョンコード

発売地域別にディスクとプレーヤーに割り当てられたコードです。
本機のコードは「A」です。「A」(または「A」を含むもの)が表示されたディスクを再生できます。
例)



DVD ビデオのリージョン番号

発売地域別にディスクとプレーヤーに割り当てられた番号です。
本機の番号は「2」です。「2」(または「2」を含むもの)と「ALL」が表示されたディスクを再生できます。
例)

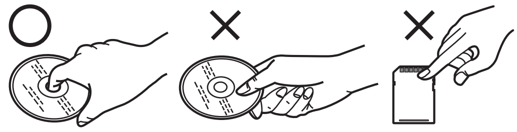


再生できないディスク

- カートリッジ付きの BD-RE (Ver.1.0)
- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- 3.95 GB/4.7 GB DVD-R for Authoring
- リージョンコード「A」を含まない BD ビデオ
- リージョン番号「2」「ALL」以外の DVD ビデオ
- カートリッジ付きの DVD-RAM (TYPE1)
- DVD-RW Ver.1.0
- DVD-RW (片面 2 層)
- DVD-ROM、CD-ROM、CDV、CD-G、SACD、Photo CD、CVD、MV-Disc、PD
- DVD オーディオ
- ビデオ CD、SVCD
- WMA ディスク
- PAL 方式で記録されたディスク
- HD DVD
- 本機に対応していないディスク

ディスクや SD カードの取り扱い

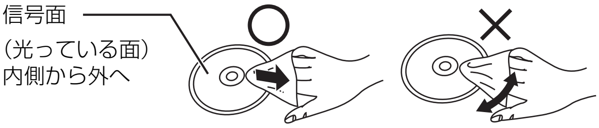
持ちかた



信号面や端子面には手を触れない

ディスクが汚れたとき

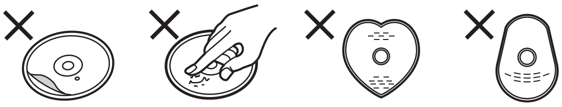
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

破損や機器の故障防止のために次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- **ディスク**
  ・シールやラベルをはらない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
  ・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
  ・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
  ・以下のディスクを使わない。
  –シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
  –そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
  –ハート型など、特殊な形のディスク



- **SD カード**
  ・SD カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所
次のような場所に置いたり保管したりしない

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光のあたるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ(大切な記録内容が損傷する可能性があります)

使用後はケースに収めてください。

準備

テレビやアンプと接続する

●本機をアンプなどの熱源となるものの上に置かないでください。
●ビデオを経由させて接続しないでください。著作権保護の影響により、映像が乱れることがあります。
●接続時は各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。各機器の説明書もご覧ください。

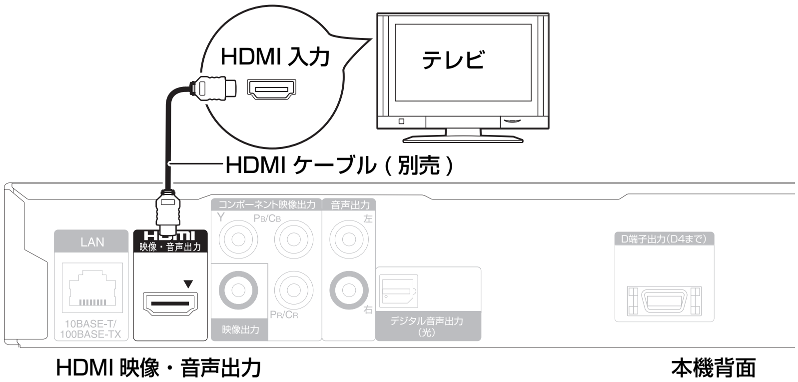
●HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。
●HDMI ケーブルは 、HDMI ロゴ (⇨ 表紙) のある「High Speed HDMI™ ケーブル」をお買い求めください。
●当社製 HDMI ケーブルを推奨します。
品番：RP-CDHG10（1.0 m）、RP-CDHG15（1.5 m）、RP-CDHG20（2.0 m）、RP-CDHG30（3.0 m）など

テレビと接続する

以下の接続の Ⓒ、Ⓑ、Ⓐ の順で画質が良くなります。

Ⓐ HDMI 映像・音声出力端子に接続する

高画質、高音質の映像と音声をケーブル 1 本で楽しむことができます。



お知らせ

以下の設定をしてください
●初期設定「HDMI 映像優先モード」と「HDMI 音声出力」を「入」に設定してください。(⇨ 32)

ヒント

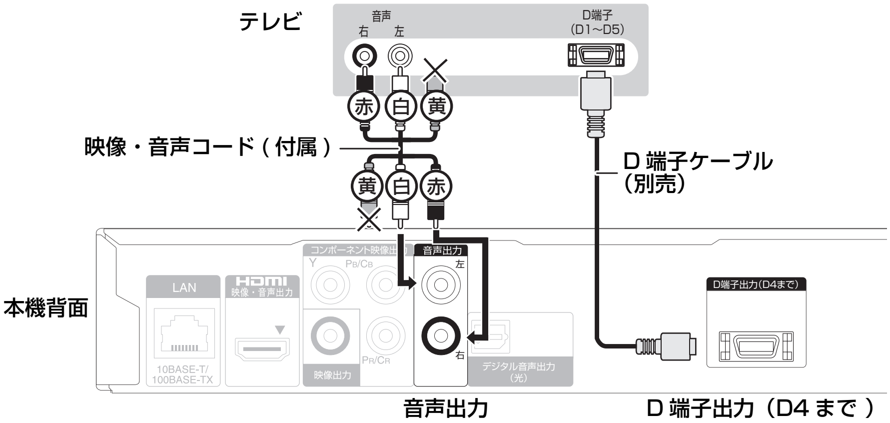
より高音質で楽しむには
●Ⓓ または Ⓔ (⇨ 7) の接続を追加してください。
Ⓔ の接続を行っている場合は、初期設定「HDMI 音声出力」を「切」に設定してください。(⇨ 32)

ビエラリンク（HDMI）機能に対応した当社製テレビと接続すると連動操作が可能になります。(⇨ 24)

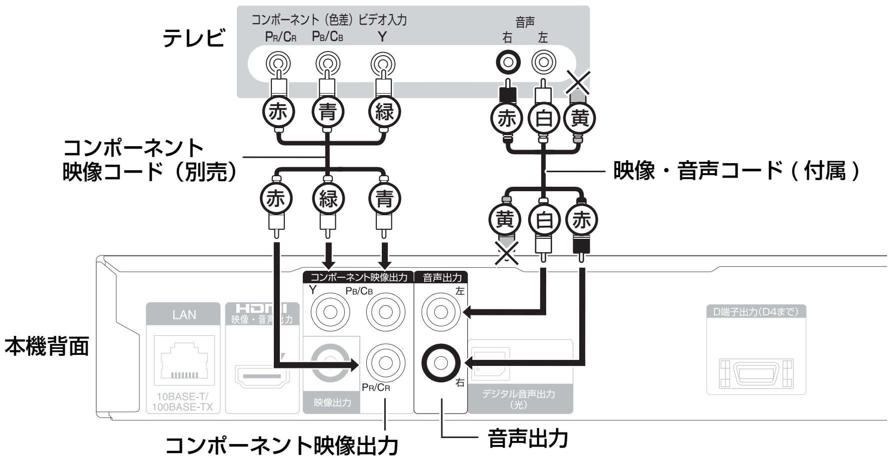
Ⓑ D 端子 / コンポーネント映像出力端子に接続する

D2 以上の D 端子、480p 以上の信号に対応したコンポーネント（色差）端子を持つテレビと接続すると、プログレッシブ映像やハイビジョン映像を楽しむことができます。
●テレビの入力端子が D1 のときは、インターレース映像 (⇨ 44) のみの出力となります。

D 端子を使用



コンポーネント映像出力端子を使用



お知らせ

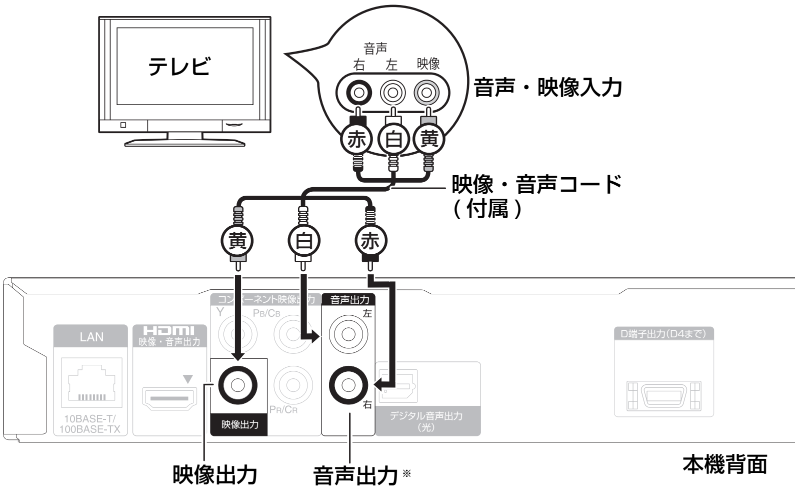
●同じ色の端子に接続してください。
●映像・音声コードの黄色プラグは、外してく ださい。
●DVD ビデオにはコンポーネント映像出力端子や D 端子からのハイビジョン映像出力が禁止されているものがあります。その場合は解像度が 480p に変換されて出力されます。

ヒント

より高音質で楽しむには
●Ⓓ または Ⓔ(⇨ 7) の接続を行ってください。
[音声コード（赤、白）は、外してください]

ハイビジョン / プログレッシブ映像を楽しむには
●480p 以上に対応したテレビに接続してください。
●初期設定「D 端子 / コンポーネント端子出力解像度」を「480p 」、「720p」または「1080i」に設定してください。(⇨ 32)
●初期設定「HDMI 映像優先モード」を 「切」に設定してください。(⇨ 32)「入」の場合は、映像は 480i で出力されます。
●D 端子ピンケーブル（別売）を使って、テレビと接続することもできます。

Ⓒ 映像出力端子に接続する



お知らせ
- 同じ色の端子に接続してください。
- この接続でハイビジョン映像を出力することはできません。
ハイビジョン映像を楽しむには Ⓐ、または Ⓑ(⇨ 6) の接続を行ってください。

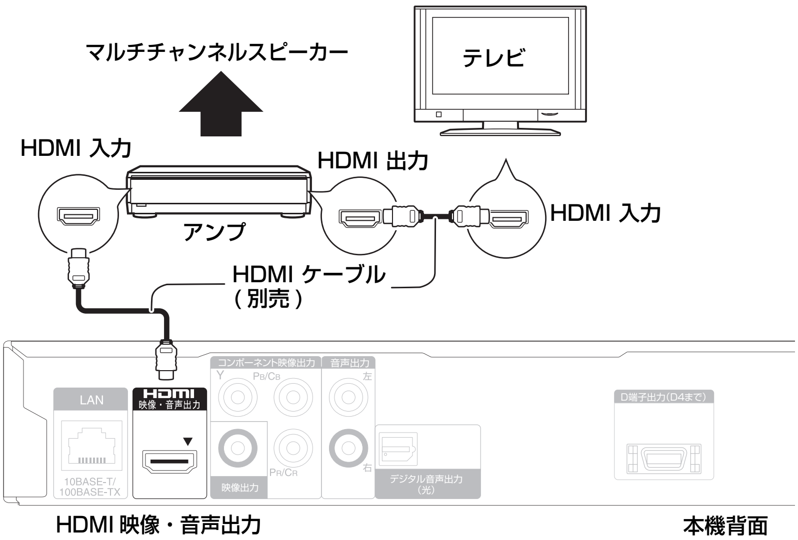
ヒント
※ 音声コード（赤、白）を使用してアナログアンプまたはシステムコンポーネントの 2 ch 音声入力端子に接続し、ステレオ音声をお楽しみいただけます。

より高音質で楽しむには
- Ⓓ または Ⓔ(⇨ 下記) の接続を行ってください。
[音声コード（赤、白）は、外してください]

アンプと接続する

Ⓓ HDMI 端子に接続する

HDMI 対応マルチチャンネルアンプに接続すると、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD および DTS-HD で記録された高音質サラウンドを楽しむことができます。



お知らせ
以下の設定をしてください
- 初期設定「HDMI 映像優先モード」と「HDMI 音声出力」を「入」に設定してください。(⇨ 32)
- 初期設定「デジタル出力」をお使いのアンプに応じて設定してください。(⇨ 31)

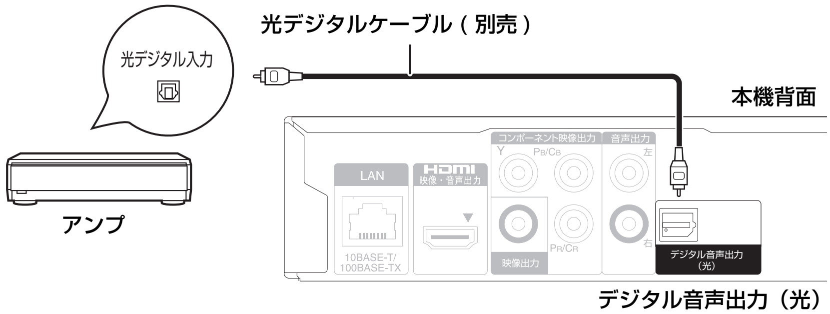
ヒント
D 端子またはコンポーネント映像出力端子でテレビと接続している場合 (⇨ 6、Ⓑ)
- 初期設定「HDMI 映像優先モード」を「切」に設定してください。(⇨ 32)

ビエラリンク（HDMI）機能に対応した当社製テレビと接続すると連動操作が可能になります。(⇨ 24)

高音質な音声を楽しむには (⇨ 27)

Ⓔ デジタル音声出力端子に接続する

デジタル音声出力端子を使用してサラウンド音声をお楽しみいただけます。

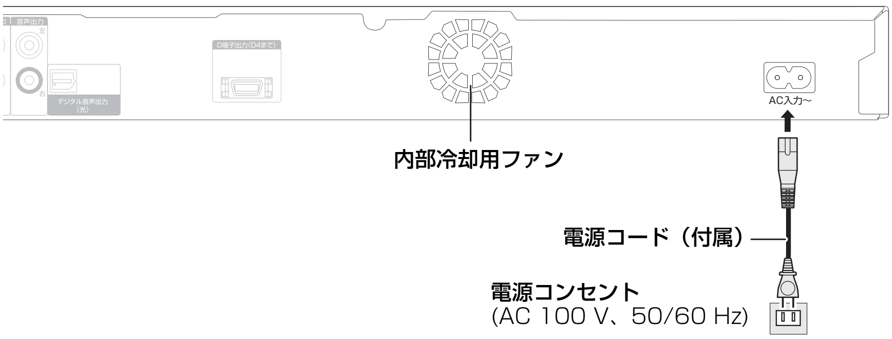


お知らせ
以下の設定をしてください
- 初期設定「デジタル出力」をお使いのアンプに応じて設定してください。(⇨ 31)

HDMI 対応テレビに接続している場合 (⇨ 6、Ⓐ)
- 初期設定「HDMI 音声出力」を「切」に設定してください。(⇨ 32)
(「入」に設定すると、音声はご希望の設定では出力されません)

準備

電源コードを接続する

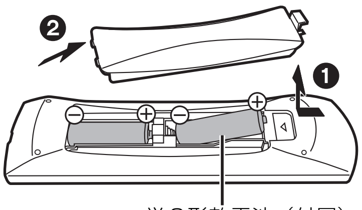


お知らせ すべての接続が終わったあと、接続してください。

ヒント **節電のために**
電源を切った状態でも、電力を消費しています（「クイックスタート」:「切」約 0.4 W)。長期間使用しないときは、節電のため電源コードをコンセントから抜いておくことをおすすめします。

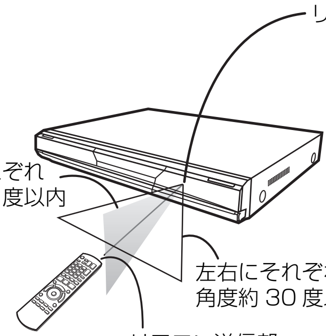
リモコンの準備

電池の入れかた



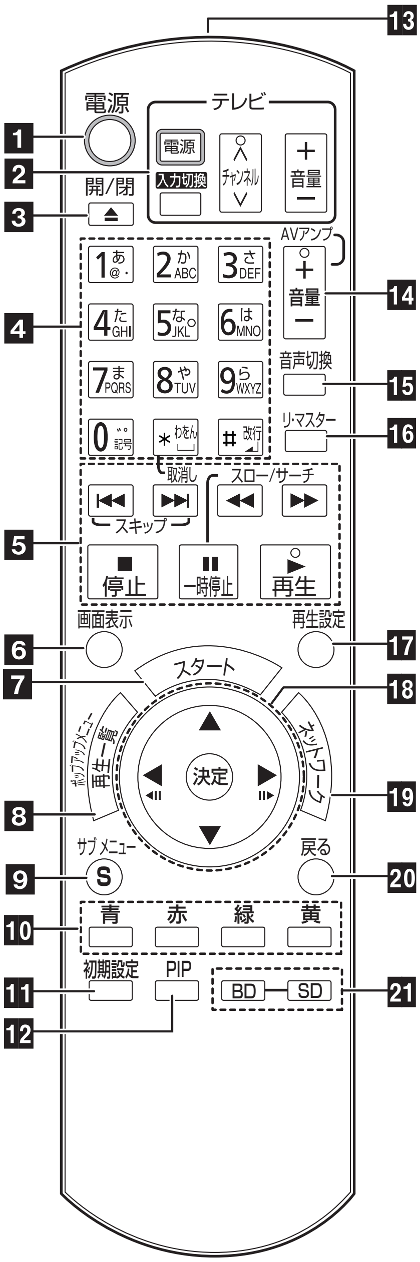
- ⊕⊖ を確認してください。
- 入れたあとは、ふたを ⊖ 側から先に入れて元どおり閉じてください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- 不要となった電池は、不燃物ごみとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。

リモコンの使用範囲



- 本体をラックに入れて使用するときは、ガラス扉の厚さや色によって、操作できる範囲が狭くなることがあります。
- リモコンと本機の間に障害物を置かないでください。
- リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。

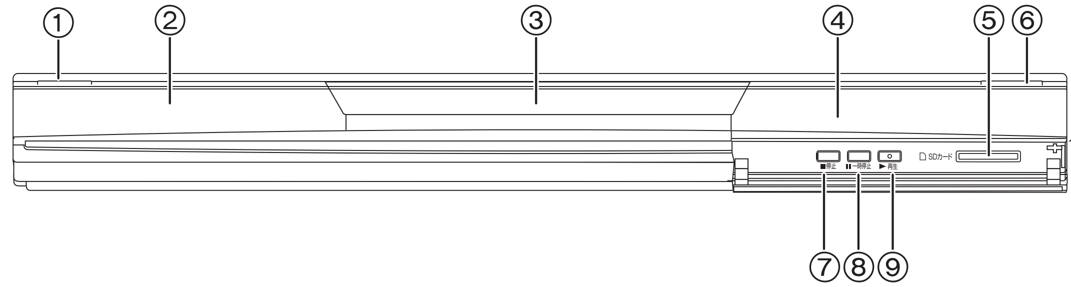
各部のはたらき



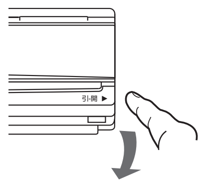
1 本機の電源 (⇨ 10)
2 テレビ操作部 (⇨ 10)
本機のリモコンでテレビの操作ができます。
[テレビ 電源]: 電源の切 / 入
[入力切換]: 入力切換
[∧ ∨ チャンネル] : チャンネルの切り換え
[テレビ + − 音量] :音量の調節
3 ディスクトレイを開閉する (⇨ 14)
4 タイトル番号などを選ぶ / 数字や文字を入力したり取り消す (⇨ 13、15)
テレビでネット使用時に文字を入力することができます。(⇨ 26)
5 再生時の基本操作 (⇨ 14、15)
6 再生状態を確認する (⇨ 15)
7 スタート画面を表示する (⇨ 16)
8 トップメニュー/ ポップアップメニュー/ 再生一覧画面を表示する (⇨ 14)
9 サブメニューを表示する (⇨ 17)
10 以下のときに使います：
- JavaTM アプリケーション (BD-J) を含むBDビデオを操作するとき
より詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 「番組一覧」、「アルバム表示」画面を表示しているとき ([青]・[赤] ボタンのみ) (⇨ 20)
- テレビでネットのサービスを操作しているとき (⇨ 26)

11 初期設定画面を表示する (⇨ 30)
12 副映像の入 / 切 (⇨ 18)
13 リモコン送信部 (⇨ 8)
14 本機のリモコンでアンプの音量を調節する (⇨ 10)
15 音声を切り換える (⇨ 16)
16 より自然な音を再現する (⇨ 16)
17 再生方法を設定する (⇨ 28)
18 選択 / 決定、コマ送り / コマ戻し (⇨ 15)
19 ネットワーク画面を表示する (⇨ 26)
20 前の画面に戻る
21 BD/SD を切り換える (⇨ 14)

準備



前面とびらの開けかた



▶ 横に指をかけ、下に向けて倒してください。

① 電源を切 / 入する [電源 ⏻/I] (⇨ 14)
本機が操作を受けつけなくなった場合は、3 秒以上押してください。電源が切れます。
② 本体表示窓
- ディスク挿入時に表示
- SD SDカード挿入時に表示

ディスクや SD カードを読み込んでいるときに点滅します。
③ ディスクトレイ (⇨ 14)
④ リモコン受信部 (⇨ 8)
⑤ SD カードを入れる (⇨ 14)
⑥ ディスクトレイを開閉する (⇨ 14)
⑦ 停止する (⇨ 15)
⑧ 一時停止する (⇨ 15)
⑨ 再生する (⇨ 14)

本機背面の端子については (⇨ 6 ～ 8)

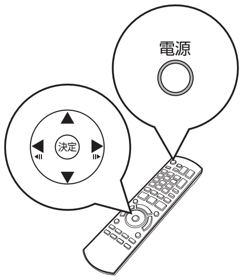
かんたん設定

お買い上げ後はじめて電源を入れると、基本的な設定を行う画面が表示されます。

準備
テレビの電源を入れ、本機を接続した入力に切り換える
(「ビデオ 1」など)

❶ [電源] を押す
設定画面が表示されます。

❷ 画面上の指示に従い、[▲, ▼] 、および [決定] を使用して設定を行う
「クイックスタート」の設定ができます。(⇨ 33)



ヒント
- この設定は初期設定「かんたん設置設定」を選ぶことでいつでも実行できます。(⇨ 33)
- 設定を変更することもできます。(⇨ 33)

テレビとアンプ操作の設定

本機のリモコンを使用して、テレビまたはアンプの操作ができます。

リモコンをテレビまたはアンプに向けて

❶ テレビの場合
[テレビ 電源] を押しながら、数字ボタンで 2 けたのコードを入力する
アンプの場合
[AV アンプ – 音量] を押しながら、数字ボタンで 2 けたのコードを入力する
例) 01: [0] ⇨ [1]

❷ テレビの電源を切 / 入したりアンプの音量調節ができるか確認する

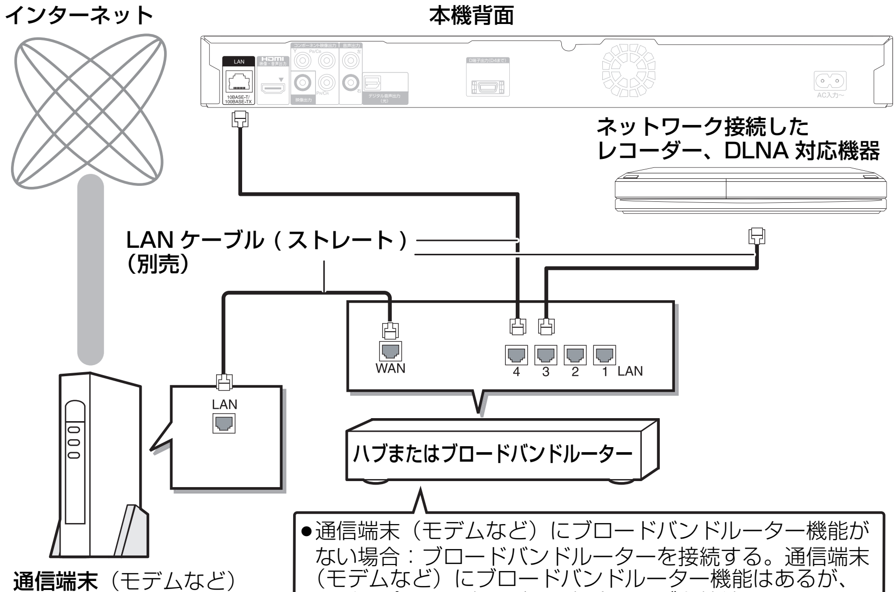
お知らせ
- ご使用のテレビメーカーもしくはアンプメーカーのコードが一覧表に複数記載されている場合は、正しく動作するものを選んでください。
- ご使用のテレビもしくはアンプのメーカーコードが一覧表にないか、または記載されているコードで動作しない場合、本機のリモコンはご使用になれません。テレビまたはアンプに付属のリモコンをご使用ください。

メーカー名	テレビコード
パナソニック	01/10/22/23/24
シャープ	02/11/21
ソニー	03/17
東芝	04
日立	05/20
NEC	06/15
三洋	07/16
三菱	08/12
富士通ゼネラル	09
パイオニア	13
ビクター	14
アイワ	18
フナイ	19

メーカー名	アンプコード
パナソニック	01/02/03
アイワ	04/05/44
アカイ	06
Daewoo	07
デノン（Denon）	08/09/10/11/12/25/37
Goldstar/LG	13
ビクター	14/15
ケンウッド	16/33
マランツ	17/18/19/21
ナカミチ	20/28/29
オンキョー	23/24
フィリップス	25
パイオニア	26/27
サンスイ	28/29/30
三洋	31
シャープ	32/33/34
ソニー	35/36
テクニクス	01/38
東芝	39
ヤマハ	22/40/41/42/43

ネットワーク接続する

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや、機能を利用することができます。
接続後、ネットワークの設定を行ってください (⇨ 12)
- ファームウェアを更新する (⇨ 下記)
- BD-Live 対応のディスクを楽しむ (⇨ 18)
- インターネットに接続して動画を楽しむ (⇨ 26)
- 別の部屋の機器の映像を見る (⇨ 26)



- 通信端末（モデムなど）にブロードバンドルーター機能がない場合：ブロードバンドルーターを接続する。通信端末（モデムなど）にブロードバンドルーター機能はあるが、モデムポートに空きがない場合：ハブを接続する。
- 10BASE-T/100BASE-TX 対応のものをお使いください。
- ルーターの DHCP サーバー機能は「有効」(IP アドレスを自動的に割り当てる設定）をおすすめします。通常は「有効」に設定されています。

お知らせ
- ブロードバンド環境でお使いください。
- ハブやルーターを経由せず、本機と DLNA 対応の当社製レコーダーを直接接続することもできます。LAN ケーブルはクロスケーブルをお使いください。

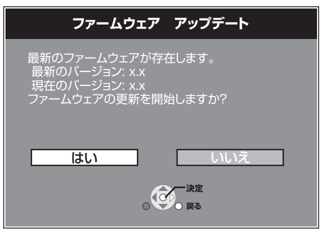
ヒント
- シールド付き LAN ケーブルを使用してください。
- テレビでネット (⇨ 26) 使用時は、標準画質の場合 1.5 Mbps 以上を、ハイビジョン画質の場合は 6 Mbps の高速インターネットサービスをお使いください。
  – 低速のインターネットサービスをお使いの場合、映像が正しく表示されない場合があります。
- LAN ケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。
- 回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。
  – 接続する機器の説明書もご覧ください。
  – 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
  – 無線 LAN をお使いの場合は、無線 LAN 機器の説明書に従って適切なセキュリティー設定を行ってください。
- 使用する機器や接続、通信環境などによってはインターネットにつながらなかったり、正常に動作しないことがあります。
- 数年間インターネットに接続していない場合、インターネットに接続できないことがあります。

ファームウェアの更新

本機をネットワーク接続している場合、本機の電源を入れたときに自動的に本機のファームウェアが最新かどうかの確認をすることができます。

準備
- ネットワーク接続をする。(⇨ 上記)
- 初期設定「ファームウェアの自動更新確認」を「入」に設定する（お買い上げ時の設定は「入」）(⇨ 33)

最新のファームウェアになっていない場合、下記の画面が表示されます。



[◀, ▶] で「はい」を選び、[決定] を押す

画面の指示に従って操作してください。
最新ファームウェアのダウンロード終了後、自動的に更新が始まります。
- 「いいえ」を選んだ場合、あとから手動で更新してください。(⇨ 右記)

ファームウェアの更新が完了すると、本機が再起動され、下記の画面が表示されます。

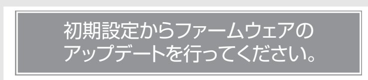


- ファームウェアの更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となりますので、以下の操作は行わないでください。
  – 本機の電源を切る
  – 電源プラグをコンセントから抜く

ヒント
- ファームウェアの更新に失敗した場合や本機がインターネットに接続されていない場合は、下記の WEB ページから最新のファームウェアをパソコンにダウンロードすることができます。CD-R などにコピーした後、本機に入れることでファームウェアを更新することができます。
  http://panasonic.co.jp/cs/av/
- 本機の電源を入れたときに最新のファームウェアかどうかの確認を行わない場合は、「ファームウェアの自動更新確認」を「切」に設定してください。(⇨ 33)

手動でファームウェアの更新をする

最新のファームウェアの更新を行わなかった場合、スタート画面 (⇨ 16) が表示されているときに、下記のメッセージが表示されます。



1) [▲, ▼] で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す
2) [▲, ▼] で「初期設定」を選び、[決定] を押す
3) [▲, ▼] で「設置」を選び、[決定] を押す
4) [▲, ▼] で「ファームウェア アップデート」を選び、[決定] を押す
5) [▲, ▼] で「ファームウェアアップデートの実行」を選び、[決定] を押す
6) [◀, ▶] で「はい」を選び、[決定] を押す

準備

ネットワークの設定

本機をブロードバンド環境でお使いになるときのための設定です。

準備

●ネットワーク接続をする。(⇨ 11)

「IP アドレス /DNS 設定」のテスト

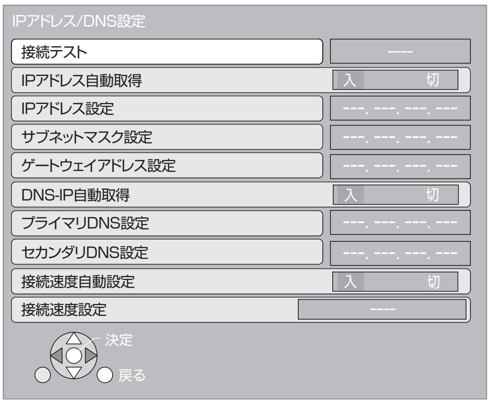
LAN ケーブルで接続したあとに必ず行ってください。

❶ [初期設定] を押す

❷ [▲, ▼] で「ネットワーク通信設定」を選び、[決定] を押す

❸ [▲, ▼] で「IP アドレス /DNS 設定」を選び、[決定] を押す

❹ [▲, ▼] で「接続テスト」を選び、[決定] を押す



「テスト中」: テスト中

「OK」: ネットワーク関連機能が使用できる状態です。

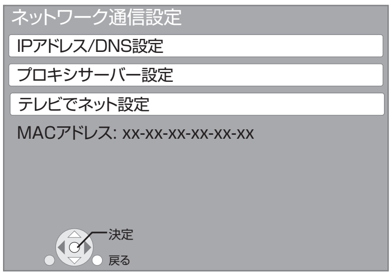
「宅内機器使用可」: ネットワーク関連機能のうち、「ビエラリンク (LAN)」(⇨ 26) のみ使用できる状態です。インターネットを使った BD-Live 機能 (⇨ 18)、ファームウェアの更新 (⇨ 11)、「テレビでネット」(⇨ 26) は使用できません。

「NG」: 接続と設定を確認してください。

お知らせ

●「IP アドレス /DNS 設定」の各設定を変更した場合にもテストを行ってください。

●接続に失敗した場合は、本機の MAC アドレスをルーター側で再設定が必要な場合があります。詳しくはルーターの説明書をご覧ください。
本機の MAC アドレスを確認するには [初期設定] を押して、「ネットワーク通信設定」を選んでください。



IP アドレスを設定する

IP アドレスは、通常ルーターが自動で割り当てますので、設定する必要はありません。ルーターに DHCP サーバー機能がない場合や、ルーターの DHCP サーバー機能を有効にしていないときのみ設定してください。

左記の手順 ❸ のあと

❹ [▲, ▼] で「IP アドレス自動取得」を選び、[◀, ▶] で「切」を選ぶ

❺ [▲, ▼] で「IP アドレス設定」、「サブネットマスク設定」または「ゲートウェイアドレス設定」を選び、[決定] を押す

❻ 数字ボタンで数字を入力し、[決定] を押す

- ●パソコンを確認して、「IP アドレス設定」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク設定」、「ゲートウェイアドレス設定」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。不明な場合、設定された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。
- ●数字などを間違えたときは [取消し] を押してください。

❼ [◀, ▶] で「はい」を選び、[決定] を押す

お知らせ

●0 ～ 255 以外の数値を入力するとエラーになります。

DNS の IP アドレスを設定する

通常は設定する必要はありません。
手動で「プライマリ DNS 設定」、「セカンダリ DNS 設定」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

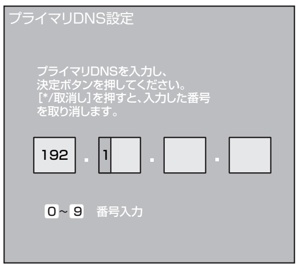
左記の手順 ❸ のあと

❹ [▲, ▼] で「DNS-IP 自動取得」を選び、[◀, ▶] で「切」を押す

❺ [▲, ▼] で「プライマリ DNS 設定」または「セカンダリ DNS 設定」を選び、[決定] を押す

❻ 数字ボタンで数字を入力し、[決定] を押す

- ●パソコンを確認して、「プライマリ DNS 設定」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS 設定」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。不明な場合、設定された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。
- ●数字などを間違えたときは [取消し] を押してください。



❼ [◀, ▶] で「はい」を選び、[決定] を押す

お知らせ

●0 ～ 255 以外の数値を入力するとエラーになります。

接続速度の設定をする

通常は設定する必要はありません。
IP アドレス設定、DNS-IP 設定のあと、接続テストを行って「NG」の場合に設定してください。

P12 の手順 ❸ のあと

❹ [▲, ▼] で「接続速度自動設定」を選び、[◀, ▶] で「切」を選ぶ

❺ [▲, ▼] で「接続速度設定」を選び、[◀, ▶] で接続速度を選ぶ
- 接続速度は、接続するネットワークの環境に合わせて選んでください。
- 設定を変えた場合、機器によっては接続できなくなることがあります。

「プロキシサーバー設定」のテスト

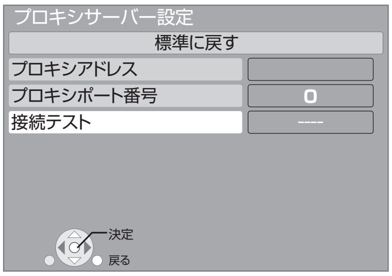
「プロキシサーバー設定」を変更したあとに必ず行ってください。

❶ [初期設定] を押す

❷ [▲, ▼] で「ネットワーク通信設定」を選び、[決定] を押す

❸ [▲, ▼] で「プロキシサーバー設定」を選び [決定] を押す

❹ [▲, ▼] で「接続テスト」を選び、[決定] を押す



「テスト中」: テスト中
「OK」: 接続完了
[戻る] を押して画面を消す
「NG」: 接続と設定を確認してください。

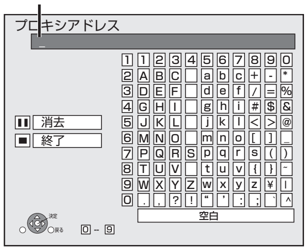
プロキシサーバーの設定をする

通常は設定する必要はありません。
プロバイダーから指示があるときに設定してください。

左記の手順 ❸ のあと

❹ [▲, ▼] で「プロキシアドレス」を選び、[決定] を押す
- 文字入力画面が表示されます。

確定文字表示欄：確定後の文字



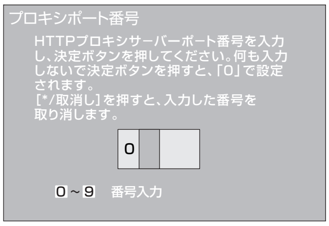
❺ [▲, ▼, ◀, ▶] で入力する文字を選び、[決定] を押す

この手順を繰り返し、文字を入力します。
- 文字を消す場合は、[❚❚ 一時停止] を押してください。

❻ 入力が終わったら、[■ 停止] を押す

❼ [▲, ▼] で「プロキシポート番号」を選び、[決定] を押す

❽ 数字ボタンで数字を入力し、[決定] を押す



❾ [◀, ▶] で「はい」を選び、[決定] を押す

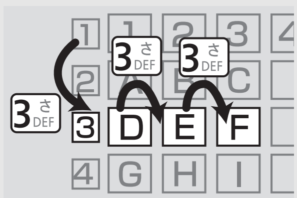
ヒント

- ネットワークの環境によっては、使えないポートがあります。

お買い上げ時の設定に戻すには
左記の手順 ❸ のあと

1) [▲, ▼] で「標準に戻す」を選び、[決定] を押す
2) [◀, ▶] で「はい」を選び、[決定] を押す

数字ボタンで文字入力する
例：「F」を選ぶ場合



1) [3] を押す
- 「F」行に移動します。

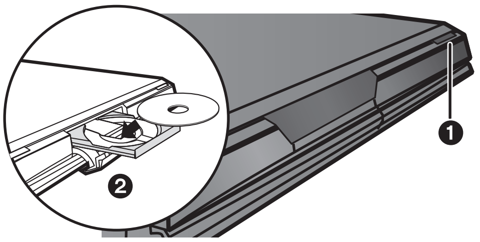
2) [3] を2回押し、[決定] を押す
- 「F」が確定文字表示欄に表示されます。

準備

基本の操作

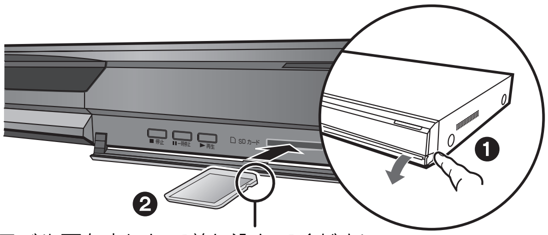
ディスク・SD カードを入れる

ディスク



❶ [▲ 開 / 閉] を押してトレイを開く
❷ ディスクを入れる
- もう一度 [▲ 開 / 閉] を押すと、トレイが閉まります。
- 両面ディスクの場合、再生したい側のラベル面を上にして入れてください。
- カートリッジ付きディスクについて
  - –カートリッジ付きの BD-RE（Ver.1.0）は、本機では使用できません。（カートリッジからディスクを取り出しても使えません）
  - –DVD-RAM や 8 cm のディスクは、カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。（TYPE1 は使えません）使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、カートリッジに収めて保管してください。

SD カード



ラベル面を上にして差し込んでください。

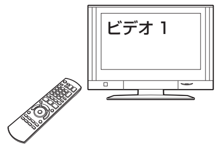
❶ 前面とびらを開く
❷ SD カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む

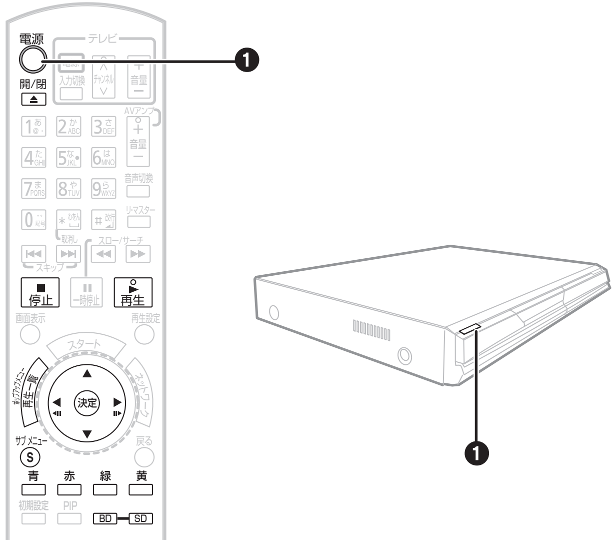
SD カードを取り出すには
SD カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

映像の再生

本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

準備
テレビの電源を入れ、本機を接続した入力に切り換えてください。





❶ [電源] を押して本機の電源を入れる
❷ メディアを入れる (⇨ 左記)

例）



再生が始まります。
- 再生が始まらない場合は、[▶ 再生] を押してください。
- ファイル選択メニューが表示された場合は、[▲, ▼] を押してフォーマットを選び、[決定] を押してください。
- メニュー画面が表示されたときは、[▲, ▼, ◀, ▶] を押して項目を選び、[決定] を押してください。色ボタンを使用する場合もあります。

ヒント

ドライブを切り換えるには
[BD] または [SD] を押す
- 停止中にメディアを入れると、ドライブは自動的に切り換わります。

メニュー / ポップアップメニューを表示するには
[ポップアップメニュー / 再生一覧] を押す
- もう一度 [ポップアップメニュー/ 再生一覧] を押すと、画面が消えます。
- ポップアップメニューはいくつかの BD ビデオで使用できる機能です。操作方法はディスクにより異なります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。
- [サブ メニュー] を押し、「ポップアップメニュー」を選んで表示させることもできます。
- メニューのないディスクでは表示できません。

お知らせ

- **メニュー画面表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [■ 停止] を押して停止させてください。**
- ディスク制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。ディスクの説明書もご覧ください。
- 2枚組の BD ビデオを再生している場合、1枚目の再生が終了したあとディスクを取り出しても、再生画面が表示され続けることがあります。
- ディスクや SD カードによっては、再生が始まるまで時間がかかることがあります。

再生中のいろいろな操作（メディアによっては機能しないものもあります）

■停止 停止

停止位置を記憶します。

続き再生メモリー機能

[▶ 再生] を押すと停止位置から再生が始まります。
- 記憶した位置は、以下の場合は解除されます。
  – [■ 停止] を数回押す
  – ディスクや SD カードを取り出す
  – 電源「入」時に、停電になったり電源コードが抜けるなどで電源が切れた場合、記憶されません。
- BD-V : BD-J(⇨ 44) が含まれる BD ビデオは、続き再生メモリー機能が働きません。

❚❚一時停止 一時停止

もう一度 [❚❚ 一時停止] を押す、または [▶ 再生] を押すと、再生を再開します。

スロー/サーチ ◀◀ ▶▶ 早送り・早戻し / スロー再生

押すたびに、または押したままにすると、速くなります（5 段階）。
- [▶ 再生] で通常再生に戻ります。
- ディスクによっては、速度が速くならないことがあります。

早送り・早戻し

再生中に [◀◀] または [▶▶] を押す
- BD-V BD-AV AVCREC AVCHD DVD-VR DVD-V : 早送りの 1 速時のみ音声が出ます。
- DivX MPEG2 : 音声は出ません。
- CD MP3 : 1 段階の速度のみ。音声は出ません。

スロー再生

一時停止中に [◀◀] または [▶▶] を押す
- BD-V AVCHD : 送り方向 [▶▶] のみ。
- BD-AV AVCREC DVD-VR : スロー再生が約 5 分間続いた場合、自動的に一時停止します。

⏮ ⏭ スキップ スキップ

押した回数だけタイトル、チャプター、またはトラックを飛び越します。
- DivX : 戻し方向 [⏮] のみ。

1〜9, 0 選んだ項目から再生する

選んだ番号のタイトルまたはチャプターから再生が始まります。

BD-V AVCHD
例） 5: [0] ⇨ [0] ⇨ [5]
　　15: [0] ⇨ [1] ⇨ [5]

DVD-V
例） 5: [0] ⇨ [5]
　　15: [1] ⇨ [5]

- AVCHD : 撮影ビデオ（AVCHD）一覧が表示されているときは、働きません。
- 停止中（画面に右記の画像が表示）は、タイトルが表示されます。再生中は、チャプターが表示されます。



決定 コマ送り / コマ戻し

一時停止中に [◀] (◀❚❚) または [▶] (❚❚▶) を押す

押すたびに次のコマを表示します。
- 押し続けると連続してコマ送り（戻し）します。
- [▶ 再生] で通常再生に戻ります。
- BD-V AVCHD : コマ送り [▶](❚❚▶) のみ。

画面モードを切り換える

画面の上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

① [サブ メニュー] を押す
② [▲, ▼] で「画面モード切換」を選び、[決定] を押す
③ [◀, ▶] で「サイドカット」または「ズーム」を選ぶ

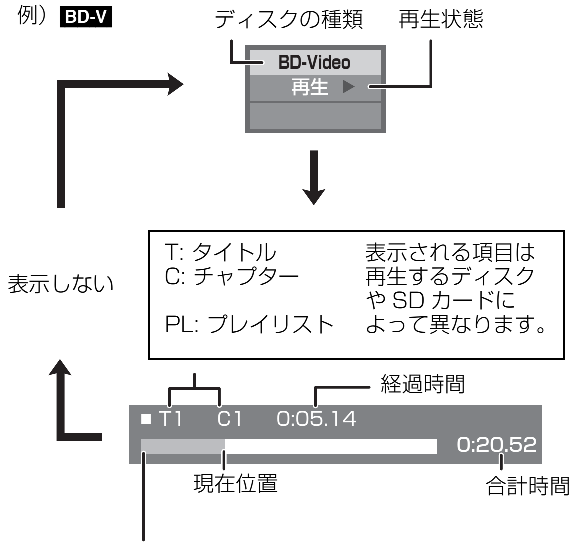
ノーマル : 通常の出力になります。
サイドカット : 16：9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示します。黒帯がない映像の場合、左右の映像がカットされますので、お気をつけください。
ズーム : 4：3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示します。黒帯がない映像の場合、上下の映像がカットされますので、お気をつけください。

- BD-V DVD-V :「サイドカット」は効果がありません。
- 初期設定「TV アスペクト」(⇨ 32) が「パン & スキャン」または「レターボックス」に設定されている場合、「ズーム」は効果がありません。

画面表示 再生状態を確認する

現在の再生状態の情報を表示します。押すたびに、以下のように情報が切り換わります。

例） BD-V



ディスクの種類または再生状態によっては、表示されないことがあります。

操作

音声切換 音声を切り換える

BD-V AVCHD DVD-V

例）DVD-V

音声情報 1 英 Digital 3/2.1ch

英語を選んだ場合

押すたびに、音声言語などが切り換わります。(⇒ 28、音声情報)

BD-AV AVCREC DVD-VR DivX MPEG2

音声 LR→ 音声 L→ 音声 R

DVD-RAM(VR)
再生 ▶

音声LR ―「音声 LR」を選んだ状態

リ·マスター より自然な音を再現する
(48 kHz 以下で記録されたディスク)

ディスクに記録されていない高い周波数信号を付け加えることで、より自然な音質が楽しめます。
押すたびに、モードが切り換わります。

設定	LPCM 音声を再生するとき 音源に適した設定を選択	その他の種類の音声を再生するとき 効果の強弱を選択
リ . マスター 1	テンポの速い曲 (ポップス・ロックなど)	弱
リ . マスター 2	さまざまなテンポの曲 (ジャズなど)	中
リ . マスター 3	テンポの遅い曲 (クラシックなど)	強
切	切	切

●HDMI 映像・音声出力端子またはデジタル音声出力端子から出力される音声に対しては、初期設定「Dolby D/Dolby D +/Dolby TrueHD」または「DTS/DTS-HD」が「PCM」に設定されているときのみ有効です。(⇒ 31)(ただし、デジタル音声出力端子に接続時は、2チャンネルの音声出力になります)

スタート画面を表示する

スタート画面から本機の主な機能を操作することができます。
●メディアによって表示される項目は、異なります。

❶ [スタート] を押す
❷ [▲, ▼] で項目を選び、[決定] を押す

例）



- **再生する**
- **トップメニュー**
- **メニュー**
- **写真を見る**
- **その他の機能へ：** 「プレイリスト再生」
  - プレイリストを選んで再生します。（BD-AV AVCREC DVD-VR のみ）
  - [▲, ▼, ◄, ►] でプレイリストを選び、[決定] を押す

  「初期設定」 (⇒ 30)
  「カード管理」 (⇒ 18)
- **ネットワーク：** 「ビエラリンク (LAN)」(⇒ 26)
  「テレビでネット」(⇒ 26)
- **BD/DVD/CD へ：** ディスクドライブに切り換える
- **SD へ：** SD ドライブに切り換える

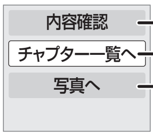
チャプター再生

BD-AV AVCREC DVD-VR

❶ ディスクを入れる (⇨ 14)

❷「番組一覧」画面を表示中に
[▲, ▼] でタイトルを選び、[サブ メニュー] を押す

❸ [▲, ▼] で「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す



内容確認 — 番組情報 (記録日など) を表示する
チャプター一覧へ — チャプターを選ぶ
写真へ — 写真 (JPEG) を再生する (⇨ 20)

❹ [◀, ▶] でチャプターを選び、[決定] を押す

ビデオカメラなどで撮影した映像を再生する

AVCHD MPEG2

ビデオカメラなどで撮影したハイビジョン動画（AVCHD）が記録された DVD-RAM/R/RW/R DL/+R/+RW/+R DL や SD カードまたは MPEG2 動画が記録された SD カードを再生することができます。

❶ ディスクまたは SD カードを入れる (⇨ 14)

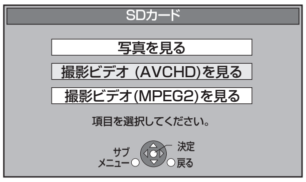
- 「撮影ビデオ（AVCHD)」または「撮影ビデオ (MPEG2)」画面が表示されます

例）



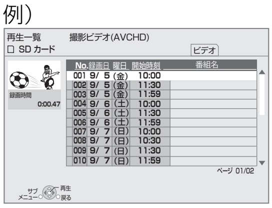
- ファイル選択メニューが表示された場合は、[▲, ▼] で「撮影ビデオ（AVCHD）を見る」または「撮影ビデオ（MPEG2）を見る」を選び、[決定] を押してください。

例）



❷ [▲, ▼, ◀, ▶] でタイトルを選び、[決定] を押す

例）



前の画面に戻るには
[戻る] を押す

画面を消すには
[再生一覧] を押す

他のメニューから AVCHD または MPEG2 メニューに切り換える
（異なったフォーマットのデータが記録されている場合）
1) [スタート] を押す
2) [▲, ▼] で「メニュー」を選び、[決定] を押す
3) [▲, ▼] で「撮影ビデオ（AVCHD）を見る」または「撮影ビデオ（MPEG2）を見る」を選び、[決定] を押す

ヒント

お知らせ

- ハイビジョン動画（AVCHD）とハイビジョン画質の番組（AVCREC）が混在したディスクの場合、初期設定「AVCHD 優先モード」を「入」にしてください。(⇨ 30)
- AVCHD: 再生中に、部分削除など編集された映像のつなぎ目で数秒間画像が静止することがあります。
- 2倍速対応以下のDVD に記録された高画質（転送レート約 18 Mbps 以上）の動画は、正しく再生できません。

操作

BONUSVIEW や BD-Live 対応の BD ビデオを楽しむ

BD-V

BONUS***VIEW*** ™ とは

BONUS*VIEW* ™(BD-ROM Profile 1 version 1.1/Final Standard Profile) 対応ディスクでは、ディスクに記録された本編以外に、映画監督のコメントや同時進行のサブストーリーを再生したり、別アングル映像などの BD ビデオの副映像が楽しめます。

BD-Live とは

BD-Live (BD-ROM Profile 2) 対応ディスクでは、BONUS*VIEW* ™ の機能に加え、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざま機能を楽しむことができます。ブロードバンド環境でのご使用をおすすめします。(⇨ 11)

- **お楽しみいただける機能や再生方法などはディスクによって異なります。**
  詳しくはディスクに添付の説明書をご覧ください。
- **使える SD カードについては、「使えるディスク・SD カードについて」をご覧ください。(⇨ 5)**

副映像のあるディスクを楽しむ

副映像を表示する

[PIP] を押す

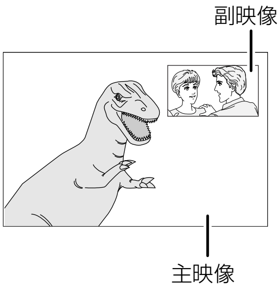
副映像が再生されます。

- 「PiP ON」が表示されます。
- もう一度押すと消えます。

副音声を出す

「副映像」の「音声情報」を「入」にする (⇨ 28、[再生設定] を押して、「ディスク」⇨「信号切換」)

副音声が再生されます。



お知らせ

- ディスクによって決められている再生方法が優先されるため、本機で設定したとおりに再生できない場合があります。
- 早送り・早戻し / スロー再生またはコマ送り・コマ戻し中は、主映像のみ再生されます。
- 「副映像」の「音声情報」を「入」にしていても、初期設定「BD ビデオ副音声・操作音」が「切」(⇨ 31) の場合は副音声は再生されません。
- 副映像を消すと、副音声は再生できません。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

ほとんどの BD-Live 対応ディスクでは、BD-Live 機能を利用して再生するために、追加コンテンツをダウンロードする必要があります。本機では SD カードにダウンロードします。

- 1 GB 以上の残量がある SD カード（SD スピードクラスの CLASS 2以上）をお使いください。

インターネットに接続して BD-Live コンテンツを利用するには、アカウントを取得する必要がある場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。

準備

- ネットワーク接続と設定をする (⇨ 11、12)

❶ SD カードを入れる (⇨ 14)

- SD カードのメニュー画面が表示される場合は、[BD] を押してください。
- 本機で SD カードのフォーマット (⇨ 下記) をすることをおすすめします。

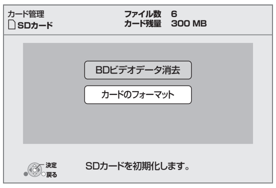
❷ ディスクを入れる (⇨ 14)

- お楽しみいただける機能や再生方法などはディスクによって異なります。
  詳しくはディスクに添付の説明書をご覧ください。

SD カードのフォーマット / データの消去

フォーマットすると、SD カードに記録されているすべてのデータは削除され、元に戻すことができません。
他の機器でプロテクトされたデータも削除されます。

1) SD カードを入れる (⇨ 14)
2) [スタート] を押す
3) [▲, ▼] で「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す
4) [▲, ▼] で「カード管理」を選び、[決定] を押す
5) [▲, ▼] で「B D ビデオデータ消去」または「カードのフォーマット」を選び、[決定] を押す
6) [◄, ►] で「はい」を選び、[決定] を押す
7) [◄, ►] で「実行」を選び、[決定] を押す



お知らせ

- 再生が終了するまでSDカードを抜かないでください。
- 残量が少ない SD カードを使うと、画面にメッセージが表示される場合があります。
- ディスクによっては、初期設定「BD-Live インターネット接続」の設定を変更する必要があります。(⇨ 30)
- BD-Live 対応ディスクは再生中に、プレーヤーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。インターネットへの接続を制限することができます。(⇨ 30)
- 再生中は一時的に映像や音声が止まる場合があります。また映像を SD カードにダウンロードしながら再生する場合に、ダウンロードが済んでいない部分へのスキップができないなど、一部の機能が使えないことがあります。

音楽の再生

CD MP3

音楽 CD や DVD-R/R DL または CD-R/RW に記録した MP3 を再生できます。
（フォルダ構造について ⇒ 35、「本機で表示されるフォルダ構造例」）

❶ **ディスクを入れる (⇒ 14)**



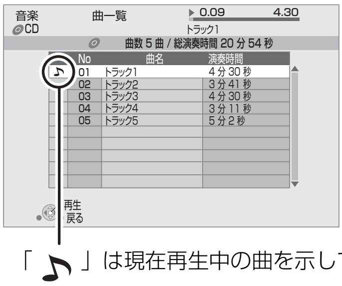
●ファイル選択メニューが表示された場合は、[▲, ▼] で「音楽を聴く（MP3)」を選び、[決定] を押してください。



❷ **[▲, ▼] で曲を選び、[決定] を押す**

選んだ曲から再生が始まります。
● CD 「TR」と再生中のトラック番号が本体表示窓に表示されます。

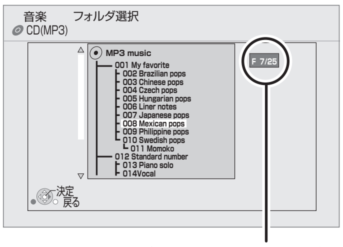
例）CD



「♪」は現在再生中の曲を示しています。

MP3 別のフォルダの曲を再生する

① 「曲一覧」画面を表示中に
[サブ メニュー] を押し、[▲, ▼] で「フォルダ選択」を選び 、[決定] を押す
② [▲, ▼] でフォルダを選び、[決定] を押す
選んだフォルダの「曲一覧」が表示されます。



選んだフォルダ番号 / 総フォルダ数
フォルダに曲が含まれていない場合、
フォルダ番号は「– –」と表示されます。

テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

ビエラリンク (HDMI) 対応のテレビ (ビエラ) とアンプを接続し、ビエラリンク (HDMI) を使っている場合、連動操作をするためテレビ (ビエラ) の電源を切ると本機の電源も切れます。ただし、接続したテレビ (ビエラ) がビエラリンク (HDMI)Ver.2 以降対応の場合、以下の操作で、音楽再生を続けることができます。

① 音楽再生中に
[サブ メニュー] を押す
② [▲, ▼] で「TV のみ電源 OFF」を選び、[決定] を押す

ヒント

他のメニューから MP3 メニューに切り換える
(異なったフォーマットのデータが記録されている場合)
1) [スタート] を押す
2) [▲, ▼] で「メニュー」を選び、[決定] を押す
3) [▲, ▼] で「音楽を聴く（MP3)」を選び、[決定] を押す

●早送り · 早戻しまたは、スキップ機能も使用できます。(⇒ 15)
●初期設定「テレビ画面の焼き付き低減機能」が「入」(⇒ 31) の場合、10 分以上操作を行わないと、スクリーンセーバー画面に切り換わります。(再生は続きます)

お知らせ

●再生できる MP3 が入っていないフォルダは選べません。

ヒント

前の画面に戻るには
[戻る] を押す

お知らせ

●テレビの電源が切れるときに数秒間、音が途切れる場合があります。
●テレビから音声を出力しているときに、この操作を行うと、テレビから音声が出なくなります。操作をする前にあらかじめアンプ側から音声が出るように設定してください。

操作

写真（JPEG）を再生する

JPEG

BD-RE、DVD-RAM/R/R DL、CD-R/RW および SD カードに記録した JPEG を再生できます。
（フォルダ構造について ⇨ 35、「本機で表示されるフォルダ構造例」）

❶ **ディスクまたは SD カードを入れる (⇨ 14)**

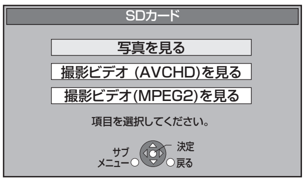
「アルバム表示」画面または「写真一覧」画面（⇨ ❸ に進む）が表示されます。

●「番組一覧」画面が表示されている場合は、[赤] ボタンを押して「アルバム表示」画面に切り換えます。
●ファイル選択メニューが表示された場合は、[▲, ▼] で「写真を見る」を選び、[決定] を押してください。

例）

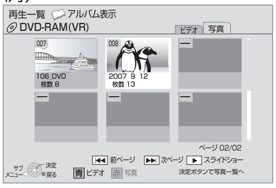


例）



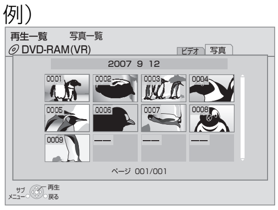
❷ **[▲, ▼, ◀, ▶] でアルバムを選び、[決定] を押す**

例）



❸ **[▲, ▼, ◀, ▶] で写真を選び、[決定] を押す**

例）



ヒント

●前後の写真を表示するには、[◀, ▶] を押してください。
●「再生一覧」画面を表示中に前後のページを表示するには、[|◀◀, ▶▶|] を押してください。

前の画面に戻るには

[戻る] を押す

画面を消すには

[再生一覧] を押す

他のメニューから JPEG メニューに切り換える

（異なったフォーマットのデータが記録されている場合）

1) [スタート] を押す
2) [▲, ▼] で「メニュー」を選び、[決定] を押す
3) [▲, ▼] で「写真を見る」を選び、[決定] を押す

お知らせ

●JPEG 以外の写真は再生できません。
●写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯が表示される場合があります。

写真（JPEG）再生時の便利な機能

スライドショーの再生

一定の時間間隔で 1 枚ずつ写真を表示することできます。

BD-RE、DVD-RAM

① 「アルバム表示」画面を表示中に
[▲, ▼, ◀, ▶] でアルバムを選び、[サブ メニュー] を押す
② [▲, ▼] で「スライドショー開始」を選び、[決定] を押す
●スライドショーは、アルバムを選んだあとで [▶ 再生] を押して始めることもできます。

DVD-R/R DL、CD-R/RW、SD カード

① 「写真一覧」画面を表示中に
[サブ メニュー] を押す
② [▲, ▼] で「スライドショー開始」を選び、[決定] を押す

スライドショーを停止するには
[■ 停止] を押す

スライドショーの設定

上記のスライドショーの再生、手順 ② で
① [▲, ▼] で「スライドショー設定」を選び、[決定] を押す

② **表示間隔を変更するには**
[▲, ▼] で「表示間隔」を選び、[◀, ▶] で間隔を選ぶ （「長い」、「普通」または「短い」）
●大きな画素数の写真を再生すると、表示間隔が長くなることがあります。設定を変更しても、表示間隔は短くなりません。

表示方法を設定するには
[▲, ▼] で「表示変化」を選び、[◀, ▶] で表示方法を選ぶ
「フェード」: フェードアウト・フェードインして切り換わります。
「モーション」: 写真を拡大・縮小したり、上下に移動しながらフェードアウト・フェードインして切り換わります。
「ランダム」: 「モーション」に加えて、さまざまな方法で次の写真に切り換わります。

スライドショーを繰り返すには
[▲, ▼] で「リピート再生」を選び、[◀, ▶] で「入」または「切」を選ぶ

BGM を流すには（SD カードのみ）
スライドショー再生中に、音楽 CD を BGM として再生することができます。
[▲, ▼] で「BGM」を選び、[◀, ▶] で「入」または「切」を選ぶ
●音楽の早送り・早戻しおよびスキップはできません。
●スライドショーを停止すると、音楽も停止します。

③ [▲, ▼, ◀, ▶] で「確定」を選び 、[決定] を押す

写真（JPEG）を回転する

① 再生中に (スライドショーを除く)
[サブ メニュー] を押す
② [▲, ▼] で「右 90°回転」または「左 90°回転」を選び、
[決定] を押す
●本機の電源を切る、またはメディアを取り出すまでは、写真の回転は保持されます。

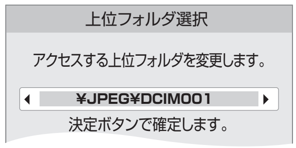
写真（JPEG）を縮小する

本機は小さいサイズの写真を拡大して表示する場合があります。拡大された写真を元のサイズで表示することができます。
① 再生中に (スライドショーを除く)
[サブ メニュー] を押す
② [▲, ▼] で「縮小」を選び、[決定] を押す
●「縮小」を取り消すには、手順 ② で [▲, ▼] を押し、「拡大」を選び、[決定] を押す。
●縮小の設定は保持されません。

別のフォルダにある写真（JPEG）を選ぶ

BD-RE、DVD-RAM

(上位フォルダに写真を含むフォルダが複数ある場合のみ)
① 「アルバム表示」画面を表示中に
[サブ メニュー] を押す
② [▲, ▼] で「上位フォルダ選択」を選び、[決定] を押す

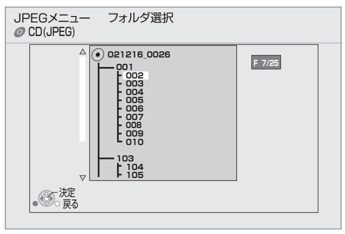


③ [◀, ▶] で上位フォルダを選び、[決定] を押す

DVD-R/R DL、CD-R/RW

① 「写真一覧」画面を表示中に
[サブ メニュー] を押す
② [▲, ▼] で「フォルダ選択」を選び、[決定] を押す
③ [▲, ▼] でフォルダを選び、[決定] を押す
選んだフォルダの「写真一覧」画面が表示されます。

例）



写真（JPEG）情報の表示

再生中に
[画面表示] を 2 回押す

例）DVD-RAM に記録した JPEG



もう一度 [画面表示] を押すと表示が消えます。

操作

DivX® ビデオを再生する

DivX

DivX ビデオについて :
DivX® は DivX, Inc. が開発したデジタルビデオフォーマットです。本機は DivX ビデオを再生する公式 DivX Certified 機器です。
パソコンで記録した DivX ビデオファイルが含まれた DVD-R/R DL または CD-R/RW を再生できます。
（フォルダ構造について ⇨ 35、「本機で表示されるフォルダ構造例」）
●**全ての DivX ファイルの再生を保証しているわけではありません。(⇨ 34, パソコンなどでファイルを作るときは)**

❶ ディスクを入れる (⇨ 14)

例）



●ファイル選択メニューが表示された場合は、[▲, ▼] で「DivX を見る」を選び、[決定] を押してください。

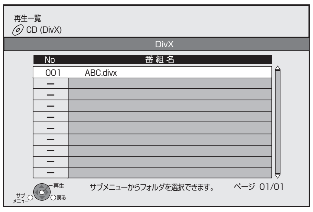
例）



❷ [▲, ▼] で項目を選び、[決定] を押す

選んだ項目から再生が始まります。

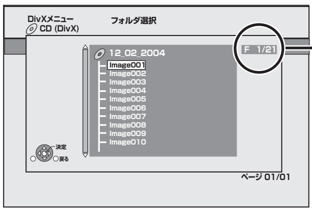
例）



別のフォルダの項目を再生する

① 「再生一覧」画面を表示中に
[サブ メニュー] を押し、[▲, ▼] で「フォルダ選択」を選び 、[決定] を押す

例）



選んだフォルダ番号 / 総フォルダ数
フォルダに項目が含まれていない場合、フォルダ番号は「– –」と表示されます。

② [▲, ▼] でフォルダを選び、[決定] を押す
選んだフォルダの「再生一覧」が表示されます。

お知らせ
●パソコンで記録時に設定された画面サイズで再生されない場合があります。テレビ側で画面サイズを変更できる場合があります。
●連続して再生できません。

ヒント
●早送り・早戻しまたは、スキップ機能も使用できます。(⇨ 15)
●「再生一覧」画面を表示中に前後のページを表示するには、[|◀◀, ▶▶|] を押してください。

他のメニューから DivX メニューに切り換える
(異なったフォーマットのデータが記録されている場合)
1) [スタート] を押す
2) [▲, ▼] で「メニュー」を選び、[決定] を押す
3) [▲, ▼] で「DivX を見る」を選び、[決定] を押す

お知らせ
●再生できる DivX が入っていないフォルダは選べません。

ヒント
前の画面に戻るには
[戻る] を押す

DivX VOD ファイルについて

DivX ビデオ・オン・デマンドについて：
DivX® Certified 機器は DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) のファイルを再生するために登録が必要です。
本機の DivX VOD 登録コードを確認し、登録時にそのコードを入力してください。
[重要：DivX VOD ファイルは DivX DRM（Digital Rights Management）によって、登録されている機器以外では再生できないよう保護されています。登録コードが承認されていない DivX VOD ファイルを再生すると「DivX(R) VOD 認証エラー」が表示され再生できません]
詳細については www.divx.com/vod

本機の登録コードを表示する
(⇨ 33、初期設定「設置」の「DivX 登録コード」)



8 文字の英数字

- 初めて DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) ファイルを再生した後、本機の初期設定「DivX 登録コード」に、最初のものとは異なるコードが表示されます。このコードを使って VOD ファイルを購入しないでください。このコードで VOD ファイルを購入し、本機で再生すると、以前のコードで購入したファイルが再生できなくなります。
- 本機の初期設定「DivX 登録コード」に表示されるコードと異なるコードで購入したファイルは再生できません。
(「DivX(R) VOD 認証エラー」が表示されます)

再生回数が限定された DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) ファイルについて
DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) ファイルの中には、ファイルごとに再生回数に制限のあるものがあります。これらのファイルを再生しようとすると、残り再生回数が表示されます。残り再生回数が「0」になると、再生できません。
(「この DivX(R) VOD レンタル番組は無効です。」が表示されます)

- 残り再生回数は、番組を再生するたびに減ります。ただし、続き再生メモリー機能により前回の停止位置から再生する場合には残り再生回数は減りません。

ビエラリンク（HDMI）を使う

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは

本機と HDMI ケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン１つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
※すべての操作ができるものではありません。

- ビエラリンク（HDMI）は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- 本機はビエラリンク (HDMI)Ver.4 に対応しています。
  ビエラリンク (HDMI)Ver.4 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した最新の当社基準です。（2008 年 12 月現在）
- ビエラリンク (HDMI) に対応した他社製品については、その製品の説明書をご確認ください。

準備

1) 本機とビエラリンク (HDMI) に対応した当社製テレビ（ビエラ）または他の機器をHDMIケーブルで接続する (⇨ 6、7)
2) 初期設定「ビエラリンク制御」を 「入」にする (⇨ 32)
   (お買い上げ時の設定は「入」です)
3) 接続した機器側（テレビなど）で、ビエラリンク制御が動作するように設定する
4) すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を HDMI 入力に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する。
   接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください。

- お使いのテレビやアンプがビエラリンク (HDMI) 対応かわからないときは、機器にビエラリンク (HDMI) のロゴマーク (⇨ 下記) が付いているかをお確かめになるか、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

VIERA Link

- ビエラリンク (HDMI) が働かなくなった場合は、設定を確かめてください。
  (⇨ 42,「ビエラリンク (HDMI) が働かない」)

ビエラリンクのいろいろな機能

自動入力切り換え

下記の操作を行うと、テレビの入力チャンネルが自動的に切り換わり、それぞれの画面が表示されます。

- 本機で再生を開始したとき
- メニュー画面が表示される操作を行ったとき
  ([スタート] や [再生一覧] を押したときなど)

自動的にテレビの電源を入れる

テレビの電源が「切」のときに以下の操作を行うと、テレビの電源が自動的に「入」になり、それぞれの画面が現れます。

- 本機で再生を開始したとき
- メニュー画面が表示される操作を行ったとき
  ([スタート] や [再生一覧] を押したときなど)

自動的に本機の電源を切る

テレビの電源を「切」にすると、接続されているビエラリンク制御対応の機器は本機を含めすべて自動的に電源が「切」になります。

- 本機が再生中または別の操作を行っているときであっても、自動的に電源が「切」になります。
- ビエラリンク（HDMI)Ver.4 対応のビエラと接続している場合、テレビ側の「こまめにオフ」の設定が有効なとき、テレビの入力を本機を接続した HDMI 入力以外に切り換えると、自動的に本機の電源が切れます。(詳しくは接続したテレビの取扱説明書をご覧ください)

テレビの電源を切っている間、本機の待機電力を少なくする（ECO スタンバイ）

ビエラリンク (HDMI)Ver.4 対応のビエラと接続している場合、リモコンを使ってビエラの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」時の状態を設定します。

- ビエラの電源「切」時には待機時消費電力を少なくし、ビエラの電源「入」時には本機がすぐに起動できる状態に設定します。[初期設定「クイックスタート」(⇨ 33) が「入」時]

■ 設定を有効にするには

- 初期設定「ECO スタンバイ」(⇨ 32) を「入」にする
- 接続したテレビの「ECO スタンバイ」の設定を有効にする
  · 詳しくは接続したテレビの取扱説明書をご覧ください。

テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

ビエラリンク (HDMI) 対応のテレビ (ビエラ) とアンプを接続し、ビエラリンク (HDMI) を使っている場合、連動操作をするためテレビ (ビエラ) の電源を切ると本機の電源も切れます。ただし、接続したテレビ (ビエラ) がビエラリンク (HDMI)Ver.2 以降対応の場合、以下の操作で、音楽再生を続けることができます。

① 音楽再生中に
   [サブ メニュー] を押す
② [▲, ▼] で「TV のみ電源 OFF」を選び、[決定] を押す

お知らせ
- 本機の [▶ 再生] を押して再生を始めた場合、テレビの電源が自動的に「入」になりますが、テレビ画面が表示されるまで、再生した番組の先頭部分が見られない場合があります。その場合は、[|◀◀] または [◀◀] を押して再生開始位置まで戻ってください。

テレビのリモコンを使ったかんたん操作

HDMI ケーブルでビエラリンク（HDMI)Ver.2 以降に対応したビエラと接続している場合、より便利な機能をお楽しみいただけます。
テレビのリモコンボタンで本機の操作ができます。
お使いになれるボタンはテレビにより異なります。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
テレビのリモコンボタンを使って本機を操作できない場合は、本機のリモコンをお使いください。

- テレビのリモコンの対応していないボタンを押すと、本機の操作が中断されることがあります。
- ビエラリンク（HDMI)Ver.4 対応のビエラと接続している場合、“プレーヤー”の項目を選択後、本機のスタート画面を表示することができます。
  詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

例）



サブメニューを使って本機を操作する

テレビのリモコンを使って、「再生操作パネル」でディスクの再生などをすることができます。

❶ [サブ メニュー] を押す

テレビのメニュー画面を使って、表示させることもできます。

お知らせ

- BD ビデオまたは DVD ビデオのトップメニュー表示中は [サブ メニュー] を押しても働きません。
- 音楽再生時は「再生操作パネル」は表示されません。画面表示に従って操作してください。

❷ 項目を選び、[決定] を押す

例）



再生操作パネル	再生操作パネルを表示します。
画面モード切換	(⇨ 15)
トップメニュー BD-V AVCHD DVD-V	トップメニューを表示します。
メニュー DVD-V	メニューを表示します。
ポップアップメニュー BD-V	ポップアップメニューを表示します。
右 90° 回転 JPEG	JPEG を回転させます。
左 90° 回転 JPEG	
拡大 JPEG	JPEG を拡大、縮小します。
縮小 JPEG	

操作

■ テレビの電源は入れたまま、本機の電源のみ切るには

本機のリモコンの [電源] を押して、本機の電源を切る

■ ビエラリンクを使わない場合は

初期設定「ビエラリンク制御」(⇨ 32) を「切」にする

■ 音楽の再生を止めるには

[戻る] を数回押す

テレビでインターネットを楽しむ

本機をインターネットに接続して動画共有サイトのサービスを楽しむことができます。
●動画共有サイトのサービスで利用できるサービスの内容や利用条件については、別途ポータルサイトにてご確認ください。

準備

●ネットワーク接続と設定をする (⇨ 11、12)

❶ [ネットワーク] を押す

❷ [▲, ▼] で「テレビでネット」を選び、[決定] を押す
- ●「テレビでネット」のポータルサイト画面が表示されます。
- ●暗証番号の入力画面が表示されたら (⇨ 33)

❸ [▲, ▼, ◀, ▶] で項目を選び、[決定] を押す
- ●リモコンの以下のボタンで操作ができます。
  [▲, ▼, ◀, ▶]、[決定]、[戻る]、[サブ メニュー]、色ボタン、数字ボタンなど
  数字ボタンを使って、文字を入力することができます。

ヒント

画面を消すには
[ネットワーク] を押す
●ネットワーク画面が表示されます。

●音声がひずむ場合は、初期設定「テレビでネット自動音量調整」を「切」に設定してください。(⇨ 33)
●コンテンツの表示画面が切れる場合は、初期設定「テレビでネット画面の縮小表示」を「入」に設定してください。(⇨ 33)
●ファームウェアの更新のお知らせが画面上に表示された場合は、ファームウェアを更新してください。(⇨ 11)
更新を行わない場合、「テレビでネット」をご利用できなくなります。

別の部屋の機器の映像を見る

ネットワーク接続している当社製 DLNA 対応レコーダー（ディーガ）に保存されている映像などを楽しむことができます。
●ネットワーク接続している機器の操作は、それぞれの説明書をご覧ください。

当社製対応機器のご紹介（2009 年 2 月現在）
ブルーレイディスクレコーダー
–DMR-BW950/DMR-BW930/DMR-BW850/DMR-BW830/DMR-BW750/DMR-BW730

ネットワーク接続している機器を使って本機を登録設定する

❶ ネットワーク接続と設定をする (⇨ 11、12)

❷ ネットワーク接続している機器を使って本機を登録設定する
- ●ネットワーク接続している機器の説明書をご覧ください。

当社製 DLNA 対応レコーダー（ディーガ）と接続している場合
ビエラリンク（LAN）設定を行ってください。
登録する機器の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記手順 1 ～ 3 の操作を行ってください。詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

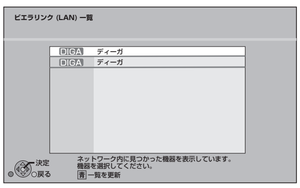
本機でネットワーク接続している機器の映像を見る

❶ [ネットワーク] を押す

❷ [▲, ▼] で「ビエラリンク (LAN)」を選び、[決定] を押す
- ●ネットワーク接続している機器の一覧が表示されます。

❸ [▲, ▼] でネットワーク接続している機器を選び、[決定] を押す

例）



❹ [▲, ▼, ◀, ▶] で再生する映像を選び、[決定] を押す
- ●当社製 DLNA 対応レコーダー（ディーガ）を選んだ場合、保存されている映像の一覧が表示されます。

例）DMR-BW950



お知らせ

●当社製 DLNA 対応レコーダー（ディーガ）に挿入しているディスクや、写真や音楽を再生することはできません。
●本機とネットワーク接続している機器間の接続環境によっては、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
●画面上で灰色表示されている項目は、本機で再生できない映像です。
●接続した機器から本機を再生することはできません。

ヒント

音声を切り換えるには
再生中に [音声切換] を押す
例）

AUD1LR

押すたびに切り換わります。

●接続した機器によっては、「再生操作パネル」を使って操作することができます。(⇨ 25)

高音質な音声と高画質な映像を楽しむ

高音質な音声を 7.1 チャンネル /5.1 チャンネルスピーカーで楽しむ

本機は BD ビデオの高音質なサラウンド音声（Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio）に対応しています。（下記の表内の　　部分）

以下の接続をしてください
- HDMI 映像・音声出力端子で 7.1 チャンネルまたは 5.1 チャンネル対応のアンプと接続する (⇨ 7)

以下の設定をしてください
- 初期設定「BD ビデオ副音声・操作音」:「切」(⇨ 31)
- 初期設定「Dolby D/Dolby D +/Dolby TrueHD」または「DTS/DTS-HD」:「Bitstream」または「PCM」(⇨ 31)

出力される音声について

アンプに接続する端子 (⇨ 7) と本機の設定（初期設定「BD ビデオ副音声・操作音」、「Dolby D/Dolby D +/Dolby TrueHD」または「DTS/DTS-HD」）によって、出力される音声は異なります。（下表）
- 表内の ch（チャンネル数）は最大チャンネル数を表しています。

<table>
<tr><th>接続端子</th><th colspan="4">HDMI 映像・音声出力端子</th><th colspan="2">デジタル音声出力端子</th></tr>
<tr><th>「Dolby D/Dolby D +/
Dolby TrueHD/」
「DTS/DTS-HD」</th><th colspan="2">「Bitstream」※1</th><th colspan="2">「PCM」※3</th><th>「Bitstream」</th><th>「PCM」</th></tr>
<tr><th>「BD ビデオ副音声・操作音」</th><th>「入」※2</th><th>「切」</th><th>「入」</th><th>「切」</th><th>「入」/「切」</th><th>「入」/「切」</th></tr>
<tr><td>Dolby Digital/
Dolby Digital EX※5</td><td>Dolby Digital/
Dolby Digital
EX※6</td><td>Dolby Digital/
Dolby Digital
EX</td><td colspan="2">5.1ch PCM</td><td>Dolby Digital/
Dolby Digital
EX※6</td><td rowspan="8">ダウンミックス
2ch PCM</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital Plus</td><td rowspan="2">Dolby Digital</td><td>Dolby Digital
Plus</td><td rowspan="2">5.1ch PCM※2</td><td rowspan="2">7.1ch PCM</td><td rowspan="2">Dolby Digital</td></tr>
<tr><td>Dolby TrueHD</td><td>Dolby TrueHD</td></tr>
<tr><td rowspan="2">DTS Digital Surround/
DTS-ES※5</td><td rowspan="2">DTS Digital
Surround/
DTS-ES※6</td><td rowspan="2">DTS Digital
Surround/
DTS-ES</td><td colspan="2">DVD-V: 5.1ch PCM</td><td rowspan="2">DTS Digital
Surround/
DTS-ES※6</td></tr>
<tr><td colspan="2">BD-V 7.1ch PCM※4</td></tr>
<tr><td>DTS-HD High
Resolution Audio</td><td rowspan="2">DTS Digital
Surround</td><td>DTS-HD High
Resolution
Audio</td><td colspan="2" rowspan="2">7.1ch PCM※4</td><td rowspan="2">DTS Digital
Surround</td></tr>
<tr><td>DTS-HD Master Audio</td><td>DTS-HD Master
Audio</td></tr>
<tr><td>7.1ch LPCM</td><td>ダウンミックス
5.1ch PCM</td><td>7.1ch PCM</td><td>ダウンミックス
5.1ch PCM※2</td><td>7.1ch PCM</td><td>ダウンミックス
2ch PCM</td></tr>
</table>

※ 1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM（例：テレビなど）で出力します。
※ 2 BD-V：副音声やボタン操作音を含まない場合は、初期設定「BD ビデオ副音声・操作音」(⇨ 31) を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。
※ 3 接続する機器がディスクに記録されているチャンネル数に非対応の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。
※ 4 BD-V：接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合、DTS, Inc. の仕様により 5.1ch または 6.1ch から 7.1ch に拡張して出力します。
※ 5 PCM 出力する場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital として、DVD に記録された DTS-ES は DTS Digital Surround として、BD に記録された DTS-ES は DTS-ES としてデコードした PCM 音声になります。
※ 6 BD-V：初期設定「BD ビデオ副音声・操作音」(⇨ 31) を「入」に設定した場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital、DTS-ES は DTS Digital Surround の Bitstream で出力します。ただし、副音声や操作音を含まない BD ビデオの再生時は、オリジナルの音声で出力します。

以下の設定をしてください
- HDMI 映像・音声出力端子 / デジタル音声出力端子：初期設定「デジタル出力」(⇨ 31)

お知らせ
- 初期設定「BD ビデオ副音声・操作音」(⇨ 31) を「切」に設定した場合、操作音や副映像は出力されません。

24p 出力について

BD ビデオの映画コンテンツの多くは、映画フィルムと同じ毎秒 24 フレームで記録されているため、24p で出力すると映画のような質感の高画質な映像を楽しむことができます。
- お使いの機器が 24p に対応していない場合は 60p で出力されます。

以下の接続をしてください
- HDMI 映像・音声出力端子で 1080/24p に対応したテレビと接続する

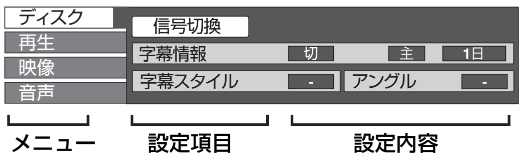
以下の設定をしてください
- 初期設定「24p 出力」:「入」(⇨ 32)

信号切換や再生方法の設定などをする

設定の基本操作

❶ [再生設定] を押す
❷ [▲, ▼] でメニューを選び、[▶] を押す
❸ [▲, ▼] で設定項目を選び、[▶] を押す
❹ [▲, ▼] で設定内容を選ぶ

例) BD ビデオ



お知らせ
●本機の状態 (再生中、停止中など) またはメディアによっては、選択・変更できない項目があります。

ヒント
●[決定] を押して設定変更を実行するものもあります。

設定を終了するには
[再生設定] を押す

設定一覧

メニュー	設定項目	設定内容
ディスク	信号切換	BD-V ●主映像 映像情報： 映像の記録方法が表示されます (⇨ 下記、映像コーデック) 音声情報： 音声や言語の種類を選びます (⇨ 下記、言語、音声属性) ●副映像 映像情報： 映像の切/入を選びます 映像の記録方法が表示されます (⇨ 下記、映像コーデック) 音声情報： 音声や言語の切/入を選びます (⇨ 下記、言語、音声属性)
	映像情報	AVCHD 映像の記録方法が表示されます (⇨ 下記、映像コーデック)
	音声情報	AVCHD DVD-V 音声や言語の種類を選びます (⇨ 下記、言語、音声属性) BD-AV AVCREC DVD-VR MPEG2 音声属性が表示されます (⇨ 下記、音声属性) DivX 音声トラック番号を選びます ●音声トラック番号は音声が 1 種類しか記録されていない場合でも表示されます
	字幕情報 ※1、※2	BD-V AVCHD DVD-V 字幕表示の切/入や、言語を選びます (⇨ 下記、言語) BD-AV AVCREC DVD-VR (字幕の入/切 情報が記録されたディスクのみ) ●字幕表示の切/入を選びます
	字幕スタイル	BD-V ディスクに記録されている字幕スタイルを選びます
	音声チャンネル ※2	BD-AV AVCREC DVD-VR DivX MPEG2 (⇨ 16、音声を切り換える)
	アングル	BD-V DVD-V アングルを選びます

ディスクの特定のメニューでしか変更できないものもあります。(⇨ 14)
※ 1 AVCHD ：字幕の代わりに日時が表示される場合があります。
※ 2 ディスクに録画された番組によっては、表示されない場合があります。

言語		
日：日本語 英：英語 仏：フランス語 独：ドイツ語	伊：イタリア語 西：スペイン語 蘭：オランダ語 中：中国語	露：ロシア語 韓：韓国語 ＊：その他

音声属性	
LPCM/Dolby Digital/Dolby Digital+/Dolby TrueHD/DTS/DTS 96/DTS-HD HI RES/DTS-HD MSTR/MPEG/AAC	信号タイプ
ch(channel)	チャンネル数
k (kHz)	サンプリング周波数
b (bit)	ビット数

映像コーデック	
MPEG-2	カラー動画を効率よく圧縮、展開する規格で DVD などに使われます。
MPEG-4 AVC VC-1	カラー動画を効率よく圧縮、展開する規格で Blu-ray ディスク などハイビジョン映像の録画に使われます。

メニュー	設定項目	設定内容
再生	リピート	(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ) リピート再生の方法を選びます。メディアによりリピートの種類は異なります。 ●全曲： すべての曲 ●番組： 番組全体 ●チャプター： チャプター ●プレイリスト： プレイリスト ●タイトル： タイトル ●１曲： 選んだ曲のみ ●切 取り消すには、「切」を選んでください。
	ランダム	CD MP3 再生中に、[▲, ▼] で「入」を選んでください。 次の曲から順不同に再生されます。 ●入 ● 切
映像	画質選択	BD-V BD-AV AVCREC AVCHD DVD-VR DVD-V DivX MPEG2 再生時の画質を選びます。 ●ノーマル： 標準 ●ソフト： ざらつきの少ない柔らかな画質 ●ファイン： 輪郭の強調されたくっきりした画質 ●シネマ： 映画鑑賞向け ●ユーザー： さらに画質を調整 (⇒ 下記)
		① [▶] で「詳細画質設定」を選び、[決定] を押す ② [▲, ▼] で項目を選び、[◀, ▶] で調整する コントラスト： 白黒の強弱 (–7 ～ +7) ブライトネス： 画面全体の明るさ (0 ～ +15) シャープネス： 鮮やかさ (–6 ～ +6) カラー： 色の濃さ (–7 ～ +7) ガンマ： 暗くて見えにくい映像の輪郭 (0 ～ +5) 3D NR: 背景部分に現れるノイズを除去し、奥行き感を出す (0 ～ +4) 「24p 出力」を「入」に設定時は、働きません。(⇒ 32) Integrated NR: モザイク状のノイズや、周囲とのコントラストがはっきりした部分に見られるもやのようなノイズを除去 (0 ～ +3)
	プログレッシブ	プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。(⇒ 44、フィルム / ビデオ素材) ●Auto (標準): フィルム素材とビデオ素材を自動で認識し、適切に変換します ●Video: 「Auto」でぶれが生じるとき
	24p DVD-V	●入 ● 切 初期設定「24p 出力」(⇒ 32) が「入」の場合のみ
音声	音質効果 ※1、2	●切
		リ . マスター (⇒ 16) ●リ . マスター 1 ●リ . マスター 2 ●リ . マスター 3
		サラウンド BD-V BD-AV AVCREC AVCHD DVD-VR DVD-V DivX MPEG2 (2チャンネル以上) フロントスピーカー（左 / 右）だけで音の臨場感を出します。 –音声がひずむ場合、「切」にしてください。 –接続した機器のサラウンド機能は「切」にしてください。 –二重音声には働きません。 ●サラウンド強 ●サラウンド標準
		ナイトサラウンド 夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声をお楽しみいただけます。 ●ナイトサラウンド
	シネマボイス ※1	BD-V BD-AV AVCREC AVCHD DVD-VR DVD-V DivX MPEG2 (センターチャンネルを含めて３チャンネル以上の音声のみ) センターチャンネルの音量を大きくして、セリフを聞き取りやすくします。 ●入 ● 切

※ 1 HDMI 映像 · 音声出力端子またはデジタル音声出力端子から出力される音声に対しては、初期設定「Dolby D/Dolby D +/Dolby TrueHD」または「DTS/DTS-HD」が「PCM」に設定されているときのみ有効です。(⇒ 31)(ただし、デジタル音声出力端子に接続時は、2チャンネルの音声出力になります)
※ 2 各機能を同時に設定することはできません。

設定

本機の設定を変える（初期設定）

必要に応じて設定を変更してください。設定内容は、本機の電源を切っても保持されています。

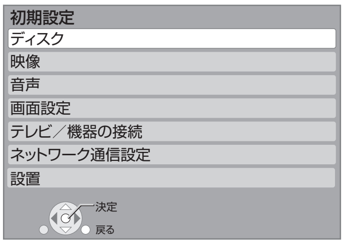
初期設定の基本操作

❶ 停止中に
[初期設定] を押す

❷ [▲, ▼] でメニューを選び、[決定] を押す

❸ [▲, ▼] で設定項目を選び、[決定] を押す
さらに他の項目がある場合は、この手順を繰り返してください。

❹ [▲, ▼, ◀, ▶] で設定内容を選び、[決定] を押す



お知らせ
●操作方法が異なる場合があります。このときは、画面の指示に従ってください。

ヒント
前の画面に戻るには
[戻る] を押す
画面を消すには
[初期設定] を押す

初期設定一覧

下線部はお買い上げ時の設定です。

「ディスク」メニュー

DVD-Video の視聴制限 DVDビデオの視聴制限ができます。	暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って数字ボタンで暗証番号（4けた）を入力してください。「DVD-Video の視聴制限」、「BD-Video の視聴可能年齢」、「BD-Live インターネット接続」、「テレビでネット視聴制限」共通の暗証番号になります。 ●**暗証番号は忘れないでください。**	●<u>8 すべて視聴可</u>: すべてのディスクが視聴可 ●1 ～ 7: 制限レベルの記録されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可 ●0 すべて視聴不可 : すべてのディスクが視聴不可 設定を変更する（レベル 0 ～ 7 選択時） ●ロック解除 ●暗証番号変更 ●レベル変更 ●一時解除
BD-Video の視聴可能年齢 年齢制限された BD ビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。		●<u>無制限</u>: すべてのディスクが視聴可 ●0 歳～ 254 歳 : 年齢制限の記録されている BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可 設定を変更する（0 歳～ 254 歳選択時） ●ロック解除 ●暗証番号変更 ●レベル変更 ●一時解除
音声言語	音声、字幕とディスクメニューで表示される言語を選びます。 BD-V DVD-V ●設定にかかわらず、指定された言語で再生するディスクもあります。 ●選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えられるものもあります。(⇨ 14) ●「その他 ＊＊＊＊」を選んだ場合、数字ボタンで言語番号 (⇨ 39) を入力してください。	●<u>日本語</u> ●英語 ●オリジナル :ディスクの最優先言語で再生 ●その他 ＊＊＊＊
字幕言語		●<u>オート</u>: 「音声言語」で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示 ●日本語 ●英語 ●その他 ＊＊＊＊
メニュー言語		●<u>日本語</u> ●英語 ●その他 ＊＊＊＊
BD-Live インターネット接続 BD-V (⇨ 18) BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。 ●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って数字ボタンで暗証番号（4けた）を入力してください。「DVD-Video の視聴制限」、「BD-Video の視聴可能年齢」、「BD-Live インターネット接続」、「テレビでネット視聴制限」共通の暗証番号になります。 ●**暗証番号は忘れないでください。**		●有効 : すべての BD-Live コンテンツに対してインターネットへの接続を許可 ●<u>有効（制限付き）</u>: BD-Live コンテンツ制作者の証明書が含まれているときのみインターネットへの接続を許可 ●無効 : すべての BD-Live コンテンツに対してインターネットへの接続を許可しない
AVCHD 優先モード BD-V BD-AV AVCHD AVCREC ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。		●入 : ハイビジョン動画（AVCHD）を再生 ●<u>切</u>: ハイビジョン画質の番組を再生

「映像」メニュー

スチルモード BD-V AVCHD DVD-V 一時停止中の画像の表示方法が選べます。 (⇨ 44、フレーム/フィールド)	●<u>オート</u> ●フィールド : 動きのある映像や「オート」選択時にぶれが生じるとき ●フレーム : 「オート」選択時に細かい絵柄などが見えにくいとき
シームレス再生 BD-AV DVD-VR AVCREC 番組と番組のつなぎ目などを再生する状態が選べます。	●<u>入</u>: なめらかに再生（早送り中やチャプターの音声が異なる場合は働きません。また、位置がずれることがあります） ●切 : 精度よく再生（つなぎ目で画像が一瞬止まる場合があります）

「音声」メニュー

<table>
<tr><td colspan="2">音声のダイナミックレンジ圧縮
BD-V BD-AV AVCREC AVCHD DVD-V DivX
(Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD のみ)
小音量でもセリフを聞き取りやすくします。(⇒ 44)</td><td>●入
●切
●オート :Dolby TrueHD の音声のみ有効。コンテンツ意図に従う</td></tr>
<tr><td colspan="3">デジタル出力 (⇒ 27)
●[決定] を押して下記の設定を行ってください。</td></tr>
<tr><td>Dolby D/Dolby D +/Dolby TrueHD</td><td rowspan="3">それぞれの音声を Bitstream 出力するか PCM 出力するかを設定します。

お知らせ
●正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーが破損する恐れがあります。
●HDMI 映像・音声出力端子で接続時、接続機器が対応していない項目が選ばれると、接続機器の仕様により設定どおり出力されない場合があります。（例 : テレビと HDMI で接続した場合、本機の HDMI 音声出力はダウンミックス 2ch に制限されます）</td><td rowspan="3">●Bitstream:
それぞれのデコーダーを搭載した機器と接続する場合
－Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio を Bitstream 出力するには、HDMI（High Bit rate Audio）対応のアンプと High Speed HDMI ケーブルで接続してください。
●PCM:
それぞれのデコーダーを搭載していない機器と接続する場合

接続機器がデコーダーを搭載しているかについては、それぞれの機器の説明書をご覧ください。</td></tr>
<tr><td>DTS/DTS-HD</td></tr>
<tr><td>AAC</td></tr>
<tr><td colspan="2">BD ビデオ副音声・操作音 BD-V
メニュー画面などで使われる操作音と副映像のあるディスクで使われる副音声 (⇒ 18) の切/入を設定します。</td><td>●入: 主音声と副音声をミックスして出力します。サンプリング周波数は 48 kHz に変換されます。
再生するディスクによっては 7.1ch で音声出力できない場合があります。(⇒ 27)
●切 : 操作音・副音声は出力されません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">PCM ダウンサンプリング変換
サンプリング周波数96 kHz で収録された音声の出力を選びます。
●以下の場合、設定にかかわらず 48 kHz に変換されます。
－サンプリング周波数が 192 kHz の信号のとき
－著作権保護処理がされいるディスクとき
－「BD ビデオ副音声・操作音」が「入」のとき</td><td>●入 : 音声を48 kHzに変換します。(96 kHz非対応の機器と接続したときに選ぶ)
●切: 音声を 96 kHz で出力します。（96 kHz に対応した機器と接続したときに選ぶ）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ダウンミックス
マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。
●初期設定「Dolby D/Dolby D +/Dolby TrueHD」または「DTS/DTS-HD」が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。
●以下の場合は、設定にかかわらず「ノーマル」で出力されます。
－AVCHD ：再生時
－BD-V ：副音声や操作音を含んでの再生時</td><td>●ノーマル: サラウンドに対応していない機器（テレビなど）に接続
●ドルビーサラウンド : 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能を有する機器に接続</td></tr>
</table>

「画面設定」メニュー

画面表示動作〔オート〕 操作時の表示をテレビ画面に自動で表示します。	●入　● 切
テレビ画面の焼き付き低減機能 テレビ画面の焼き付きを低減するための設定です。 ●「入」に設定すると、黒帯部分を明るくします。 （コンポーネント映像出力端子、D 端子または HDMI 端子と接続して、以下の設定をしているときのみ） －「D 端子 / コンポーネント端子出力解像度」(⇒ 32) :「720p」または「1080i」のとき －「HDMI 出力解像度」(⇒ 32) :「480p」以外のとき	●入: 10 分以上操作を行わないと、画面の表示は自動的に変わります。 －再生一覧やスタート画面が表示されている場合、または CD や MP3 が再生されている場合 : スクリーンセーバー画面に戻る。（再生は続きます） －JPEG が再生されている場合（スライドショーを除く）: 再生一覧画面に戻る。 ●切 :
本体表示窓の明るさ 本体表示窓の明るさを調節します。	●常時 明 ●常時 暗 : 暗くなります。 ●オート : 再生中は暗くなり、再生中以外は明るくなります。
ライセンス	本機が使用しているソフトウェア情報を表示します。

設定

「テレビ／機器の接続」メニュー

TV アスペクト 接続したテレビに合わせて設定します。	**4：3 テレビに接続している場合** ●パン & スキャン： 16：9 の映像の左右が切られて再生されます。（パン & スキャン再生ができないソフトもあります）B D ビデオの場合は、映像は「レターボックス」で再生されます。 ●レターボックス： 16：9 の映像の上下に帯がついて再生されます。 **16：9 ワイド画面テレビに接続している場合** ●16:9: 4：3 の映像が 4：3 の比率のまま画面中央に再生されます。 ●16:9 フル： 4：3 の映像が左右に引き伸ばされて再生されます。
HDMI 接続 ●[決定] を押して、さらに設定します。	
HDMI 映像優先モード HDMI 映像・音声出力端子から出力するかどうかを設定します。	●入: ●切 アンプなどの機器と HDMI 映像・音声出力端子と接続し、テレビとコンポーネント映像出力端子または D 端子と接続するとき（アンプと接続する前に設定してください） 「D 端子 / コンポーネント端子出力解像度」で設定された解像度の映像が出力されます。
HDMI 出力解像度 接続した機器が対応している項目には、画面上に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。	●オート: 接続した機器に適した解像度を自動で選びます。(1080p、1080i、720p または 480p) ●480p ●720p ●1080i ●1080p –アンプを経由してテレビと接続する場合、接続するアンプが、本機で設定した解像度に対応していないときは、正しく出力できません。その場合は、本機とテレビを HDMI ケーブルで接続し、アンプとは HDMI ケーブル以外で接続してください。
24p 出力 BD-V DVD-V 映画など 24p 記録された素材を 24p 出力します。 ●1080/24p に対応したテレビの HDMI 端子と接続したときのみ「入」にできます。 ●DVD-V: この設定を「入」にして、「映像」メニューの「24p」(⇨ 29) を「入」にすると 24p 出力します。	●入： 24p 素材をそのまま 24p で出力 –24p 出力時は、HDMI 映像・音声出力端子以外の端子からは正しく出力されないことがあります。 –BD-V：24p 以外の素材は 60p で出力されます。 ●切
HDMI RGB 出力レンジ RGB入力のみに対応した機器（DVI機器など）に接続したとき有効になります。	●スタンダード: そのまま出力します。 ●エンハンス： 映像の黒白が鮮明でないとき、くっきりとした映像で表示します。
HDMI 音声出力 音声を HDMI 映像・音声出力端子から出力するかどうかを設定します。	●入 ●切： テレビと HDMI ケーブルで接続し、HDMI 非対応のアンプなどと光デジタルケーブルで接続するとき
ビエラリンク制御 ビエラリンクに対応した機器とHDMIケーブルで接続したときに、連動操作の設定をします。	●入： ビエラリンク制御機能を使うとき ●切： ビエラリンク制御機能を使わないとき
ECO スタンバイ リモコンを使ってビエラの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」時の状態を設定します。 ●以下の場合に有効 –ビエラがビエラリンク（HDMI）Ver.4 に対応 –ビエラの ECO スタンバイの設定が有効時 –「ビエラリンク制御」(⇨ 上記) が「入」時	●入 ●切 「入」に設定すると、ビエラの電源「切」時に「クイックスタート」(⇨ 33) が「切」時と同じように動作し、待機時消費電力を最小にします。
D 端子 / コンポーネント端子出力解像度 D 端子またはコンポーネント映像出力端子からの解像度を設定します。	●480i ●480p ●720p ●1080i DVD ビデオは、「720p」、「1080i」を選んでいても 480p で出力されます。

「ネットワーク通信設定」メニュー

IP アドレス /DNS 設定 (⇨ 12) ●[決定] を押して、さらに設定します。	
接続テスト	————
IP アドレス自動取得	●入　●切
IP アドレス設定	——— .——— .——— .———
サブネットマスク設定	——— .——— .——— .———
ゲートウェイアドレス設定	——— .——— .——— .———
DNS-IP 自動取得	●入　●切
プライマリ DNS 設定	——— .——— .——— .———
セカンダリ DNS 設定	——— .——— .——— .———
接続速度自動設定	●入　●切
接続速度設定 「接続速度自動設定」が「切」時のみ有効	●10BASE 半二重　●10BASE 全二重 ●100BASE 半二重　●100BASE 全二重
プロキシサーバー設定 (⇨ 13) ●[決定] を押して、さらに設定します。	
標準に戻す	●はい　●いいえ
プロキシアドレス	(初期値は空欄)
プロキシポート番号	(初期値は 0)
接続テスト	————
テレビでネット設定 (⇨ 26) ●[決定] を押して、さらに設定します。	
テレビでネット視聴制限 テレビでネットの視聴制限ができます。 ●暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って数字ボタンで暗証番号（4けた）を入力してください。「DVD-Video の視聴制限」、「BD-Video の視聴可能年齢」、「BD-Live インターネット接続」、「テレビでネット視聴制限」共通の暗証番号になります。 **●暗証番号は忘れないでください。**	●入　●切 設定を変更する（「入」選択時） ●暗証番号変更
テレビでネット自動音量調整 コンテンツによって異なる音量を、自動的に標準の音量にします。 ●コンテンツによっては、効果がない場合があります。 ●音声がひずむ場合は「切」に設定してください。	●入　●切
テレビでネット画面の縮小表示 コンテンツの端が切れないように、縮小して表示します。	●入　●切
MAC アドレス (⇨ 12) 本機の MAC アドレスを表示します。	

「設置」メニュー

自動電源〔切〕 操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。	●2 時間　●6 時間　●切
リモコンモード (⇨ 43)	●リモコン 1　●リモコン 2　●リモコン 3
クイックスタート 電源「切」状態からの起動を高速化します。 ●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。	●入 ●切 「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。 – 待機時消費電力が増えます。（消費電力については ⇨ 46） – 内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。
かんたん設置設定 本機の基本的な設定を行います。(「クイックスタート」)	●する　●しない
初期設定リセット 本機をお買い上げ時の設定に戻します。ただし、「リモコンモード」、「IP アドレス /DNS 設定」、「プロキシサーバー設定」、「テレビでネット設定」「DVD-Video の視聴制限」、「BD-Video の視聴可能年齢」は初期値には戻りません。	●する　●しない
DivX 登録コード DivX **(⇨ 23)** DivX ビデオ・オン・デマンド (VOD) のファイルを購入や再生する場合に必要です。	
ファームウェア アップデート (⇨ 11) ●[決定] を押して、さらに設定します。	
ファームウェアの自動更新確認 本機をネットワーク接続している場合、本機の電源を入れたときに自動的に最新のファームウェアかどうかの確認をすることができます。	●入　●切
ファームウェアアップデートの実行 手動でファームウェアの更新ができます。	●はい　●いいえ

パソコンなどでファイルを作るときは

ファイルフォーマット	MP3	JPEG
メディア	CD-R/RW※1、DVD-R/R DL※1	CD-R/RW※1、DVD-RAM※2、DVD-R/R DL※1、BD-RE※3、SD カード
拡張子	“.mp3” 、“.MP3”	“.jpg”、“.JPG”
画素数	—	34×34 ～ 8192×8192 画素 (サブサンプリング : 4:2:2、4:2:0)
対応ビットレート	32 kbps ～ 320 kbps	—
再生可能なサンプリング周波数	44.1 kHz/48 kHz	—
備考	ID3 タグ : バージョン 1/2.2/2.3/2.4 ID3 タグは、MP3 ファイルに書き込まれている曲についての情報です。 本機は上記のバージョンの再生に対応していますが、表示できる情報はタイトルとアーティストの名前のみになります。 ● 静止画データなどが入った MP3 ファイルは再生できない場合があります。	●DCF※4 に準拠した JPEG 解凍時間 : 約 2 秒 (1010 万画素) ●MOTION JPEG : 非対応

ファイルフォーマット	DivX
メディア	CD-R/RW※1、DVD-R/R DL※1
拡張子	“.DIVX”、“.divx”、“.AVI”、“.avi”
画素数	32×32 ～ 720×576 画素
備考	●DivX ホームシアター・プロファイル認定 **映像** –ストリーム数 : 1 まで –コーデック : DIV3、DIV4、DIVX、DV50、DIV6 –FPS (Frame Per Second) : 30 fps まで **音声** –ストリーム数 : 8 まで –フォーマット : MP3、MPEG、Dolby Digital –マルチチャンネル : Dolby Digital MPEG マルチは 2 ch に変換 ●GMC (Global Motion Compensation) : 非対応

- ●英数字以外の文字は、正しく表示されないことがあります。
- ●メニュー画面とパソコンの画面では表示順が異なる場合があります。
- ●メディアの作りかたによっては、再生順が異なる場合があります。
- ●フォルダの作りかたによっては、ファイルやフォルダが再生できない場合があります。(⇨ 35)
- ●パケットライト方式 (データ記録方式のひとつで、データを「パケット」と呼ばれる細かい単位に分割して書き込む方式) で記録されたファイルは再生できません。
- ●記録状態によっては再生できない場合があります。
- ●ファイル数やフォルダ数が多い場合、再生開始までに時間がかかったり、再生できないことがあります。

※ 1 使用できるフォーマット : ISO9660 level1 および level2 (拡張フォーマットを除く)、Joliet
本機はマルチセッションに対応しています。
本機はパケットライト方式に対応していません。
※ 2 使用できるフォーマット : UDF 2.0
※ 3 使用できるフォーマット : UDF 2.5
※ 4 DCF : Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会（JEITA）] にて制定された統一規格

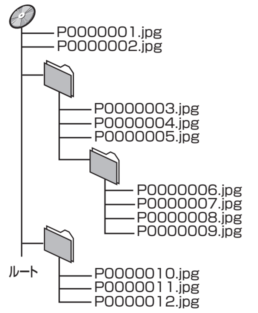
本機で表示されるフォルダ構造例
メディア上に下記のようなフォルダを作成することで本機でファイルを再生することができますが、データの作りかたによっては、再生順が異なる場合があります。

: 表示されるフォルダ

∗∗∗: 数字
XXX: 半角文字
※ 1∗∗∗：001 から 999 まで
※ 2∗∗∗：100 から 999 まで
XXX：5 けたまで
※ 3∗∗∗∗：0001 から 9999 まで

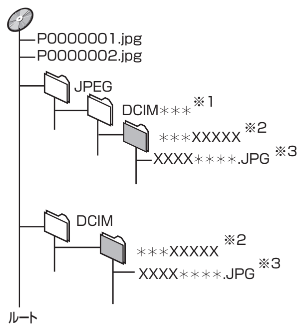
DVD-R/DL/CD-R/RW (JPEG)

フォルダ内のファイルは、更新された順、または撮影された順に表示されます。



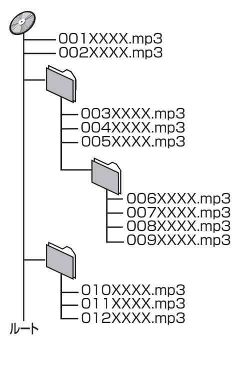
BD-RE/DVD-RAM (JPEG)

フォルダを表示することはできません。



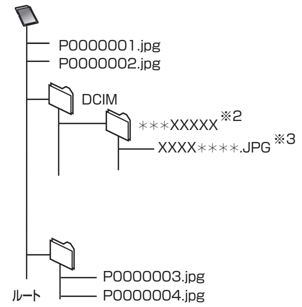
DVD-R/DL/CD-R/RW (MP3)

再生したい順に3けたの番号を付けてください。



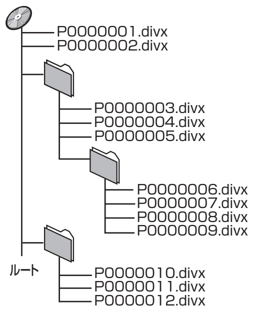
SD カード (JPEG)

全フォルダ内の JPEG ファイルを表示します。
フォルダを表示することはできません。



DVD-R/DL/CD-R/RW (DivX)

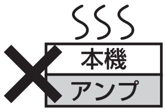
フォルダ内のファイルは、更新された順、または撮影された順に表示されます。



取り扱いについて

本機の設置場所

●アンプなどの熱源となるものの上に置かない。
●温度変化が起きやすい場所に設置しない。
●「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。



つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。



●「つゆつき」が発生しやすい状況
　●急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接あたるなど）
　●湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
　●梅雨の時期
●「つゆつき」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで（約２～３時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

お手入れ

本体

●電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
●汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約１年に一度、レンズクリーナー（別売）(⇒ 2) でほこりなどの除去をおすすめします。使いかたは、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。
●クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

免責事項について

●当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
●動作確認済みの機器や環境については、ホームページにて順次ご案内いたします。
詳しくは、下記サポート情報ホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/bd/

著作権など

●著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
●この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。
この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
●米国特許番号：5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 及び、その他米国や世界各国に出願し権利を保有する特許に基づき製造されています。
DTS は、DTS, Inc. の登録商標です。DTS のロゴ、シンボルマーク、DTS-HD、及び、DTS-HD Master Audio ｜ Essential は、DTS, Inc. の商標です。
著作権 1996-2008 DTS, Inc. 不許複製。
●SDHC ロゴは商標です。
●Portions of this product are protected under copyright law and are provided under license by ARIS/SOLANA/4C.
●HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
●Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
●日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
"Mobile Wnn" © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
●HDAVI Control™ は商標です。
●"AVCHD" および "AVCHD" ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
●"BD-LIVE" ロゴは、Blu-ray Disc Association の商標です
●"BONUSVIEW" は Blu-ray Disc Association の商標です。
●DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
●DivX® ビデオを再生
DivX® は DivX, Inc. の登録商標であり、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。

Plays DivX® video
DivX® is a registered trademark of DivX, Inc., and is used under license.
●本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
- ●AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
- ●個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
- ●ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合

詳細については米国法人 MPEG LA,LLC
（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
●本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
●この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。

こんな表示が出たら

起動時や操作中に異常が起こった場合、テレビ画面または本体表示窓に以下のメッセージやサービス番号が表示されます。

テレビ画面

テレビ画面		ページ
DivX(R) VOD 認証エラー この番組を再生することを本機は許可されていません。	● DivX: 異なった登録コードで購入した DivX VOD ファイルを再生しようとしています。本機では再生できません。	23
再生できません。	●非対応のディスク（映像方式が異なるディスクなど）が入っています。	4、5
本機では再生できません。	●非対応の画像を再生しようとしています。 ●本体表示窓の「SD」が点滅していないことを確認して、SD カードを入れ直してください。	5、34 —
ディスクが入っていません。	●ディスクが裏返しになっていませんか。	—
この DivX(R) VOD レンタル番組は無効です。	● DivX: DivX VOD ファイルの残り再生回数がありません。	23
⃠ この操作はできません。	●本機が操作を制限しています。 例： – BD-V ：再生中は逆スローと逆コマ送りができません。	15
⃠ この操作はディスクにより禁止されています。	●ディスクによっては、映画の予告編や警告画面の再生中に、サーチやスキップができない場合があります。	15
接続できませんでした。 LAN ケーブルの接続を確認してください。	●ハブをお使いの場合で、ハブの Link ランプが消灯しているときは、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル（誤ってクロスケーブルを使用）などを確認してください。	11
IP アドレスが設定されていません。	●初期設定「IP アドレス /DNS 設定」で「IP アドレス設定」が「---. ---. ---. ---」になっています。「IP アドレス設定」、「サブネットマスク設定」、「ゲートウェイアドレス設定」を設定してください。（必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください）	12
IP アドレスが取得できませんでした。 ルーターとの接続や設定をご確認ください。	●ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。 –ルーターにつなぐ側のポートは、UPLINK につないでください。 –ハブの Link ランプが点灯しているか確認し、消灯している場合は、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル（誤ってクロスケーブルを使用）などを確認してください。 ●上記で問題がなければ、ルーターなどの DHCP が動作していないことが考えられます。ルーターの設定や動作をご確認ください。ルーターのリセットを行ってみるのも 1 つの方法です。	11 11
IP アドレスの重複を検出しました。 設定をご確認ください。	●本機と同じ IP アドレスが他の機器に使われています。他のパソコンや、本機、ルーターの IP アドレスをご確認のうえ、重複しないように再設定してください。	—
接続テストを実行できませんでした。 アドレスが正しく設定されませんでした。	●一度、電源を「切」にし、電源コードを抜き差しし直して、再度実行してください。それでも症状が改善しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
接続テストに失敗しました。 ゲートウェイが応答しません。 ルーターとの接続や設定をご確認ください。	●ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。 –ルーターにつなぐ側のハブのポートは、UPLINK につないでください。 –ハブの UPLINK ポートの Link ランプが消灯している場合は、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル（誤ってクロスケーブルを使用）などを確認してください。 ●初期設定「IP アドレス /DNS 設定」で「IP アドレス設定」、「サブネットマスク設定」、「ゲートウェイアドレス設定」をご確認ください。 ● MAC アドレスが必要な場合は、[初期設定] を押して初期設定「ネットワーク通信設定」を表示してご確認ください。	11 12 12、33
ネットワークへ接続できません。 初期設定「ネットワーク通信設定」または「BD-Live 機能のネットワーク接続」を確認してください。	●初期設定「BD-Live インターネット接続」を「有効（制限付き）」に設定して、BD-Live コンテンツ制作者の証明書が含まれていないディスクを再生した場合、インターネットへの接続は許可されません。 インターネットへの接続を許可する場合は、初期設定「BD-Live インターネット接続」を「有効」に設定してください。	30
ファームウェアのバージョン確認に失敗しました。 しばらくしてから、もう一度やり直して下さい。	●接続環境によって、ファームウェアのサーバーへ接続できません。しばらくしてから、もう一度やり直してください。	—

本体表示窓		ページ
F99	●本機が正常に動作しません。本体の [電源 ⏻/I] を3秒以上押し､電源を切ってください。そのあと、もう一度 [電源 ⏻/I] を押して、電源を入れてください。	—
HDMI ONLY	●BD ビデオの種類によっては HDMI 映像･音声出力端子からのみ出力可能なものがあります。	—
NET	●インターネットに接続中です。	—
No PLAY	●BD ビデオまたは DVD ビデオで視聴制限がかかっています。	30
No READ	●メディアに汚れや傷がついているため、再生できません。	—
PLEASE WAIT	●復旧動作中に表示されます。「PLEASE WAIT」表示中は、本機を操作することはできません。 ●ビエラリンク（HDMI)Ver.4 に対応したビエラと接続していて、テレビ側の「こまめにオフ」機能が働き電源が切れました。	— —
U30 □ (□ は数字)	●本体とリモコンのリモコンコードが違っています。リモコンコードを合わせてください。  表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定] を2秒以上押したままにしてください。	43
UNFORMAT	●下記のディスクが入っていませんか。 フォーマットしていない DVD-RAM、DVD-RW、+RW、または未使用の +R、+R DL、DVD-RW（DVD ビデオ規格）	—
UNSUPPORT	●本機で再生できないメディアが入っています。	4、5
U59	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。 表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。	—
U72 U73	●HDMI接続時に異常が発生しました。 –接続機器がHDMIに対応していません。 –HDMIロゴの付いたケーブルをお使いください。 –HDMIケーブルが破損しています。	—
H□□ または F□□ (□ は数字)	●異常が発生しました。(「H」または「F」以降の数字は、本機の状態によって変わります）電源を一度、切／入してください。	—
START	●ファームウェアの更新のため、本機が再起動中です。本機の電源を切らないでください。	11
UPD□/□ (□ は数字)	●ファームウェアの更新中です。	11
FINISH	●ファームウェアの更新が完了しました。	11

上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。
上記に紹介している操作をしても表示が消えない場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口へ修理を依頼してください。(⇒ 49 ～ 50) その場合、画面に表示される番号をお知らせください。

言語番号一覧

アイスランド.............7383
アイマラ....................6589
アイルランド.............7165
アゼルバイジャン.....6590
アッサム....................6583
アファル....................6565
アフリカーンス.........6570
アブハジア................6566
アムハラ....................6577
アラビア....................6582
アルバニア................8381
アルメニア................7289
イタリア....................7384
イディッシュ.............7473
インターリングア.....7365
インドネシア.............7378
ウェールズ................6789
ウォロフ....................8779
ウクライナ................8575
ウズベク....................8590
ウルドゥー................8582
ヴォラピュック.........8679
英語...........................6978
エストニア................6984
エスペラント.............6979
オーリヤ....................7982
オランダ....................7876
カザフ........................7575
カシミール................7583
カタロニア................6765
ガリチア....................7176
韓国(朝鮮)語............7579
カンナダ....................7578
カンボジア................7577
キルギス....................7589
ギリシャ....................6976
クルド........................7585
クロアチア................7282
グアラニー................7178
グジャラト................7185
グリーンランド.........7576
グルジア....................7565
ケチュア....................8185
ゲール
（スコットランド).... 7168
コーサ........................8872
コルシカ....................6779
サモア........................8377
サンスクリット.........8365
ショナ........................8378
シンド........................8368
シンハラ....................8373
ジャワ........................7487
スウェーデン............8386
スペイン....................6983
スロバキア................8375
スロベニア................8376
スワヒリ....................8387
スンダ........................8385
ズールー....................9085
セルビア....................8382
セルボクロアチア......8372
ソマリ........................8379
タイ............................8472
タガログ....................8476
タジク........................8471
タタール....................8484
タミル........................8465
チェコ........................6783
チベット....................6679
中国語........................9072
ティグリニア............8473
テルグ........................8469
デンマーク................6865
トウイ........................8487
トルクメン................8475
トルコ........................8482
トンガ........................8479
ドイツ........................6869
ナウル........................7865
日本語........................7465
ネパール....................7869
ノルウェー................7879
ハウサ........................7265
ハンガリー................7285
バシキール................6665
バスク........................6985
パシュト....................8083
パンジャブ................8065
ヒンディー................7273
ビハール....................6672
ビルマ........................7789
フィジー....................7074
フィンランド............7073
フェロー....................7079
フランス....................7082
フリジア....................7089
ブータン....................6890
ブルガリア................6671
ブルターニュ............6682
ヘブライ....................7387
ベトナム....................8673
ベロルシア
（白ロシア)............ 6669
ベンガル
（バングラ).............6678
ペルシャ....................7065
ポーランド................8076
ポルトガル................8084
マオリ........................7773
マケドニア................7775
マダガスカル.............7771
マライ(マレー).........7783
マラッタ....................7782
マラヤーラム.............7776
マルタ........................7784
モルダビア................7779
モンゴル....................7778
ヨルバ........................8979
ラオ............................7679
ラテン........................7665
ラトビア(レット).....7686
リトアニア................7684
リンガラ....................7678
ルーマニア................8279
レトロマンス.............8277
ロシア........................8285

故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。
それでも直らないときや、症状が載っていないときは販売店にご連絡ください。

次のような場合は、 故障ではありません
- ●周期的なディスクの回転音
- ●早送り・早戻し時の映像の乱れ
- ●電源切 / 入時の音

本機の温度上昇について
本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。
●本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機をリセットする

		ページ
本機が操作を受けつけなくなったときは	●本体の [電源 ⏻/I] を 3 秒以上押し続けてください。（設定は変わりません） 本機の電源が切れます。	—
基本設定以外の設定をお買い上げ時の状態に戻すには？	●初期設定「初期設定リセット」で「する」を選ぶと以下の項目以外はお買い上げ時の設定に戻ります。 「リモコンモード」、「IP アドレス /DNS 設定」、「プロキシサーバー設定」、「DVD-Video の視聴制限」、「BD-Video の視聴可能年齢」、「テレビでネット設定」	33
お買い上げ時の設定に戻すには？	●下記の操作をすると、すべての項目がお買い上げ時の状態に戻ります。 1 本機の [電源 ⏻/I] を押し、電源を切る 2 本体の [❚❚ 一時停止]、[電源 ⏻/I] と [▲ 開 / 閉] を、同時に本体表示窓に「HELLO」が表示されるまで押す（5秒以上） 本機の電源が入り、そのあと自動で電源が切れます。	—

電源

電源が入らない	●電源コードをコンセントにしっかりと差し込んでください。 ●本体表示窓から「BYE」の表示が消えてから、本機の [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れてください。	8
自動的に電源が切れた	●各種安全装置が働いていることがあります。本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れてください。 ●ビエラリンク（HDMI)Ver.4 対応のビエラと接続している場合、テレビ側の「こまめにオフ」の設定が有効なとき、テレビの入力を本機を接続した HDMI 入力以外に切り換えると、自動的に本機の電源が切れます。（詳しくは接続したテレビの取扱説明書をご覧ください）	— —

操作

テレビ、アンプが操作できないリモコンが働かない	●リモコンのメーカーコードを変更してください。メーカーコードを変更してもテレビ・アンプの種類によってはリモコンが働かない場合があります。 ●電池を交換すると、メーカーコードまたはリモコンコードを合わせ直す必要がある場合があります。 ●本機とリモコンのリモコンコードが異なっていませんか。リモコン側のコードを変更してください。 表示された番号の数字ボタンを押しながら、[決定] を2 秒以上押したままにしてください。  ●電池が入っていますか。電池が切れていませんか。 ●本機のリモコン受信部に向けて操作していますか。 ●リモコンと本体の間に障害物 (ラックなどの色つきガラスも含む) などがありませんか。 ●受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たっていませんか。	10 10、43 43 8 8 — —
操作できない	●正しいドライブが選ばれているか確認してください。 ●ディスクや再生状態（停止中など）によっては、一部操作ができない場合があります。 ●本体表示窓に「U59」点灯時は本体内部温度が高くなっています。「U59」が消えるまで待ってください。 ●各種安全装置が働いていることがあります。 1 本機の [電源 ⏻/I]を押し、電源を切る ●電源が切れない場合は、 3 秒以上押し続けると強制的に切れます。（または、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む） 2 本機の [電源 ⏻/I]を押し、電源を入れる 上記の操作を行っても操作できないときは、販売店にご相談ください。 ●寒いところから急に暖かいところに持ってきたときなどに、レンズ部に露がつくことがあります。1 ～ 2 時間放置してください。	14 — 39 — —
再生が始まらない、またはすぐに停止する	●ディスクを正しく入れていますか（裏表が逆になっているなど)。 ●メディアが汚れていませんか。 ●本機で使えないメディア、未記録のメディアが入っていませんか。 ● DivX : DivX VOD ファイルを購入したホームページをご確認ください。	14 5 4、5 23
ディスクが取り出せない	●本機の故障が考えられます。 電源｢切｣状態で、本体の [❚❚ 一時停止] と [▲ 開 / 閉] を同時に 5秒以上押したままにすると、ディスクトレイが開きます。ディスクを取り出し、販売店にご相談ください。	—
起動が遅い 電源「入」時に、映像や音声の出力に時間がかかる	●初期設定「クイックスタート」が「入」になっていますか。 ●下記のような場合は起動に時間がかかります。 –停電直後または電源コードを差した直後 –D 端子や HDMI 映像・音声出力端子で接続している場合 ●ビエラリンク（HDMI)Ver.4 対応のビエラと接続し、ECO スタンバイの機能が有効なとき、ビエラの電源「切」時に本機の電源のみ「入」にすると起動が遅くなります。	33 — 32
電源「切」に動作音がする	●初期設定「クイックスタート」が「入」の場合、内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。	33
「24p 出力」で「入」が選べない	●24p に対応したテレビの HDMI 端子と接続した時のみ「入」が選べます。 本機をテレビ、アンプと HDMI 端子で接続する場合、アンプによっては、「入」が選べない場合があります。本機とテレビを HDMI 端子で接続し、アンプとは HDMI 端子以外で接続してください。「入」が選べるようになります。	32

表示

		ページ
表示が暗い	●初期設定「本体表示窓の明るさ」で明るさを変更してください。	31
表示される再生経過時間が実際の再生時間よりも短い	●本機は 29.97 フレーム（0.999 秒間の再生フレーム）を 1 秒として計算し、再生経過時間を表示しています。従って表示される経過時間と実際の経過時間に誤差が生じます。（例：実際の経過時間が 1 時間の場合、本機では 59 分 56 秒経過と表示します）	―

テレビ画面や映像

映像が出ない 映像が乱れる	●テレビと本機の映像出力端子、コンポーネント映像出力端子、D 端子、HDMI 映像・音声出力端子のいずれかに接続していることを確認してください。 ●テレビ側の入力切換を確認してください。 ●D 端子またはコンポーネント映像出力端子でテレビと接続し、初期設定「D 端子 / コンポーネント端子出力解像度」でテレビが対応していない解像度を選んでいませんか。停止中に本体の [■ 停止] と [▶ 再生] を同時に 5 秒以上押し、設定を解除した後、もう一度設定をしてください。 ●HDMI 映像・音声出力端子以外でテレビと接続し、初期設定「24p 出力」を「入」に設定すると、映像が乱れることがあります。「24p 出力」を「切」にしてください。 ●コンポーネント（色差）ビデオ入力端子が 1080i の信号のみに対応しているテレビの場合、D 端子ピンケーブルまたはコンポーネント映像コードで接続すると、DVD ビデオの映像を正常に再生できません。映像・音声コードで接続してください。 ● DivX : ファイルの作りかたによっては、映像が出力されない場合があります。	6、7 ― 32 32 ― ―
再生の映像が乱れたり、正しく再生されない（AVCHD）	● 2 倍速対応以下の DVD に記録された高画質（転送レート約 18 Mbps 以上）の動画は、正しく再生できません。	―
映像が停止する	● DivX : 2 GB 以上の容量のある DivX ファイルは再生が停止する場合があります。	―
画面が自動的に変わる	●初期設定「テレビ画面の焼き付き低減機能」が「入」の場合、10 分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。	31
ハイビジョン映像で出力されない	●ハイビジョン映像は映像出力端子からは出力されません。 ●初期設定「HDMI 映像優先モード」、「HDMI 出力解像度」、「D 端子 / コンポーネント端子出力解像度」を正しく設定してください。 ●ディスクによっては著作権保護のため、コンポーネント映像出力端子や D 端子からの出力が 480p に制限されることがあります。	― 32 ―
画面メッセージが出ない	●初期設定「画面表示動作〔オート〕」が「入」になっていますか。	31
横縦比4:3の画像が左右に引き伸ばされる 画面サイズがおかしい	●テレビ側で画面サイズ比を変更してください。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。 ●コンポーネント映像出力端子または D 端子を使用している場合、「プログレッシブ」を「Video」にしてください。改善されなければ、初期設定「TV アスペクト」を「パン & スキャン」にしください。	― 29、32
再生時の映像に残像が多い	●「3D NR」、「Integrated NR」の設定値を「0」にしてください。	29
画質を調整しても映像が変わらない	●映像によっては効果が得られない場合があります。	―
帯部分が灰色になる	●初期設定「テレビ画面の焼き付き低減機能」を「切」にすると黒くなります。	31

音声

音が出ない 聞きたい音声が聞こえない 音が小さい、おかしい	●接続や初期設定「デジタル出力」の設定を確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。 ●[音声切換] を押して、正しい音声を選んでください。 ●以下の場合は、「音声」メニューの「音質効果」を「切」にしてください。 –カラオケディスクなど、サラウンド効果が出ないディスクの場合 –二重放送の番組を再生する場合 ●HDMI 映像・音声出力端子またはデジタル音声出力端子から音声出力時は、音声効果（リ . マスター、サラウンドなど）が Bitstream 信号には働きません。 ● DivX : ファイルの作りかたによっては、音声が出力されない場合があります。	6、7、31 16 29 ― ―
音声が切り換えられない	●ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。 ●HDMI 映像・音声出力端子またはデジタル音声出力端子でアンプと接続していませんか。初期設定「Dolby D/Dolby D +/Dolby TrueHD」または「DTS/DTS-HD」が「 Bitstream 」のときは切り換えできません。「 PCM 」に設定するか、音声出力端子と接続してください。	― 7、31

SD カード

SD カードの容量が減る	●BD-Liveに対応したBDビデオをお使いの場合、SDカードスロットにSDカードを入れているとSD カードにデータが書き込まれる場合があります。	18
SD カード内の音楽が再生できない	●SD カードのデータは AVCHD、MPEG2、JPEG のみ再生できます。	5
SD カードのデータを認識しない	●対応した SD カードでないか、データが破損している可能性があります。 ●電源を入れ直してください。	5 ―

HDMI 接続

		ページ
映像が出ない **映像が乱れる**	●HDMI 映像・音声出力端子でテレビと接続し、初期設定「HDMI 出力解像度」でテレビが対応していない解像度を選んでいませんか。停止中に本体の [■ 停止] と [▶ 再生] を同時に 5 秒以上押し、設定を解除した後、もう一度設定をしてください。ただし、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD 音声の Bitstream 出力ができません。これらの信号を Bitstream 出力するには、初期設定「初期設定リセット」で、本機をお買い上げ時の設定に戻してください。 ●HDMIケーブルで接続した機器から映像を出力する場合は、初期設定「HDMI 映像優先モード」を「入」にしてください。 ●HDMI接続で4台以上の機器をつなぐと映像が映らなくなることがあります。接続台数を減らしてください。 ●初期設定「24p 出力」が「入」の場合、24p 素材とそれ以外の素材が切り換わる部分では HDMI 認証が起こり、黒画面になります。 ●初期設定「24p 出力」が「入」の場合、DVD ビデオを再生中に映像が乱れる場合があります。初期設定「24p 出力」を「切」に設定してください。	32、33 32 — 32 32
横縦比4:3の画像が左右に引き伸ばされる **画面サイズがおかしい**	●「TV アスペクト」を 「16:9」にしてください。	32
プログレッシブ出力で DVD ビデオを再生時、映像の一部が二重にぶれて見える	●HDMI 映像・音声出力端子から映像出力時は、下記の手順で設定してください。 1 HDMI 映像・音声出力端子以外の映像端子で接続する 2 D 端子またはコンポーネント映像出力端子に接続している場合は、初期設定「HDMI 映像優先モード」を「切」、「D 端子 / コンポーネント端子出力解像度」を「480i」に設定してください。	32
音が出ない **聞きたい音声が聞こえない** **音が小さい、おかしい**	●HDMIケーブルで4台以上の機器と接続すると音声が止まることがあります。接続台数を減らしてください。 ●HDMI 映像・音声出力端子またはデジタル音声出力端子から Bitstream 信号出力時は、音声効果は働きません。 ●HDMIケーブルで接続した機器から音声を出力する場合は、初期設定「HDMI 音声出力」を「入」にしてください。 ●HDMIケーブルで接続している場合、お使いの機器によっては音声がひずむ場合があります。 ●初期設定「BD ビデオ副音声・操作音」を「入」に設定時、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD は、周波数 48 kHz の Dolby Digital または DTS Digital Surround に変換されて出力されます。7.1 チャンネル LPCM 音声は、5.1 チャンネルに変換されます。「BD ビデオ副音声・操作音」の設定を「切」にしてください。	— — 32 — 31

ビエラリンク

ビエラリンク (HDMI) が働かない	●**初期設定**「ビエラリンク制御」が「入」になっていますか。 ●接続した機器側のビエラリンク (HDMI) の設定を確認してください。 ●HDMI機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどにビエラリンク (HDMI) が動作しなくなる場合があります。このときは、以下の操作をしてください。 1 HDMIケーブルで接続したすべての機器の電源を入れた状態で、テレビ（ビエラ）の電源を入れ直す 2 テレビ（ビエラ）のビエラリンク (HDMI) を制御する設定を「しない」に変更し、再度「する」に設定する（詳しくはビエラの取扱説明書をご覧ください） 3 テレビ（ビエラ）の入力を、本機を接続したHDMI入力に切り換えて、本機の画面を表示したあとに、ビエラリンク (HDMI)が動作するか確認する	32 24 —

ネットワーク

ネットワークに接続できない	●LAN ケーブルが外れていませんか。LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ●モジュラーケーブルを本機の LAN 端子に誤って挿入しないでください。ストレート LAN ケーブルで接続してください。 ●モデムやルーターの電源は入っていますか。それぞれの電源を入れてください。 ●ネットワーク接続は正しいですか。プロバイダーからの ID やパスワードを、ブロードバンドルーターやモデムの説明書に従って、正しく設定してください。 ●ルーターの設定（DHCP サーバー機能やセキュリティーなど）を確認してください。詳しくは、ルーターの説明書をご覧ください。 ●ルーターやモデムの接続は正しいですか。ルーターやモデムの説明書に従って、正しく設定してください。 ●初期設定「ネットワーク通信設定」と「BD-Live インターネット接続」の設定を確認してください。	11 11 — — — — 30、33
パソコンと同時に使えない	●プロバイダーまたは加入しているサービスがルーターの使用を制限している場合があります。プロバイダーにお問い合わせください。	—
テレビでネットが働かない **つながらない**	●ネットワーク接続は正しいですか。 ●ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らない場合があります。	11 —
ネットワーク接続した DLNA 対応機器の映像を再生できない	●ネットワーク接続は正しいですか。 ●接続した機器側で本機が登録されていますか。 ●すべての映像を再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。	11 — —

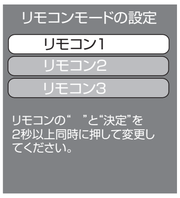
その他

症状	処置	ページ
映像や音声が一瞬止まる	●シーンの切り換わりで、音声や映像が途切れることがあります。(AVCHD) ●2 層ディスクに記録されたタイトルの再生時、自動的に層の切り換えを行い 1 層ディスクのように再生されますが、切り換わり時に一瞬映像や音声が途切れることがあります。	— —
BD ビデオまたは DVD ビデオが再生できない	●BD ビデオのリージョンコードまたは DVD ビデオのリージョン番号を確かめてください。 ●BD ビデオ、DVD ビデオの視聴制限が設定されていませんか？ 設定を変更してください。 ●BD ビデオの種類によっては HDMI 映像・音声出力端子からのみ出力可能なものがあります。	5 30 —
BD ビデオの副映像が再生できない	●副映像を再生できるディスクかどうか確認してください。	—
BD ビデオの BD-Live が再生できない	●BD-Live に対応したディスクかどうか確認してください。 ●お使いの SD カードに十分な空き容量がありません。 ●SD カードがプロテクトされています。 ●SD カードにダウンロードした追加コンテンツは、BD ビデオのコンテンツの一部としてディスク制作者により提供されています。SD カードに映像や音声をコピーしていても、SD カードだけでは再生できません。 ●SD カードにデータをダウンロードしても、正しく働かない場合は、本機で SD カードをフォーマットし直してください。(SD カードに記録されているすべてのデータは削除されます) ●ネットワーク接続は正しいですか。	18 — 5 18 18 —
音声言語や字幕言語が切り換えられない	●ディスクに複数の言語が収録されていますか。 ●音声言語や字幕言語をディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。	— 14
字幕が出ない	●字幕の入っていないメディアは字幕が表示されません。 ●「字幕情報」を「入」にしてください。	— 28
アングルを変えて見ることができない	●ディスクに複数のアングルが収録された場所のみ切り換わります。	—
続き再生メモリー機能ができない	●記憶された停止位置は下記の場合、解除されます。 –[■ 停止] が数回押された場合 –ディスクトレイが開けられた場合 –電源「入」時に、停電になったり電源コードが抜けるなどで電源が切れた場合 ●メディアによって続き再生メモリー機能が機能しないものもあります。 ●BD-V ：BD-J が含まれた BD ビデオは続き再生メモリー機能できません。	— — —

リモコンが本機以外の別の機器に反応する場合

当社製機器のほとんどが共通したリモコン方式を採用しているため、再生などの操作をすると、本機以外の別の機器にも影響してしまいます。
このときはリモコンコードを変えてください。

❶ **[初期設定] を押す**
❷ **[▲, ▼] で「設置」を選び、[決定] を押す**
❸ **[▲, ▼] で「リモコンモード」を選び、[決定] を押す**
❹ **[▲, ▼] でコード (1、2 または 3) を選び、[決定] を押す**



❺ リモコン側のコードを変更するには
[決定] を押しながら、数字ボタン ([1]、[2] または [3]) を 2 秒以上押す
❻ **[決定] を押す**

お知らせ
本体の表示窓に下記の表示が現れたときは、本体とリモコンのリモコンコードが合っていないため操作ができません。



本体のリモコンコード
[決定] を押したままで、表示された数字のボタンを 2 秒以上押してください。

用語解説

カ

ゲートウェイアドレス

インターネットのアクセスで経由すべき機器のIPアドレス。通常はブロードバンドルーターのIPアドレスのことをいいます。(例：192.168.0.1)

サ

サブネットマスク

ネットワークを効率的に使うために、ブロードバンドルーターにつなぐ機器のIPアドレスを絞り込むための数字です。(例：255.255.255.0)

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。
1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

タ

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、最小音と最大音の音量差を小さくすることで、小音量でもセリフなどを聞き取りやすくできます。

ダウンミックス

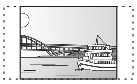
ディスクに収録されたサラウンドの音声を2チャンネルなどに混合することです。5.1 チャンネルの DVD ビデオなどをテレビ内蔵のスピーカーで再生するときなどは、ダウンミックスされた音声が出力されています。

ハ

パン & スキャン/レターボックス

BD ビデオ、DVDビデオの多くは、ワイドテレビ画面(画面の横縦比が 16:9)を前提に制作されているため、従来のサイズ(横縦比が 4:3)のテレビに映し出そうとすると、16:9 の映像が 4:3 に収まらなくなります。4:3 のテレビに映し出すには 2 つの方法があります。

- **パン & スキャン：**
  映像の左右をカットして、画面全体に映し出します。



- **レターボックス：**
  画面の上下に黒い帯を入れて、4:3の画面で16:9の映像を映し出します。



フィルム/ビデオ素材

一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。本機は、DVDソフトに記録された映像の素材を判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。(映画の映像などで使われています)
- **ビデオ素材**
  映像情報が30フレーム/秒、60フィールド/秒で記録されているもの。(テレビドラマやテレビアニメの映像などで使われています)

フレーム/フィールド

フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。1フレームはフィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。



- フレームスチルのときは、2枚のフィールドの間でぶれを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ぶれは生じません。

ブロードバンド

ご家庭でいつでもインターネットを楽しめる、ADSL などのインターネット接続環境です。電話モデムを使用するのに比べて、高速なアクセスが可能です。

プログレッシブ (p)/ インターレース (i)

インターレース(飛び越し走査)は、画面の表示を奇数段と偶数段の 2 回に分けて行う従来の映像信号です。
プログレッシブ(順次走査)は、画面の表示を 1 回で行います。そのため、インターレースに比べてちらつきを抑えた高精細な映像を再現できます。

プロバイダー

ケーブルや電話回線に接続した機器を、インターネットに接続するサービスをしている会社の総称です。

A

エーエーシー　アドバンスド　オーディオ　コーディング

AAC（Advanced Audio Coding）

衛星デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド･オーディオ･コーディング」の略で、CD 並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

エーブイシーエイチディー

AVCHD

高精細なハイビジョン映像を８ｃmDVD 記録用ディスクやSDカード上に撮影記録できるように開発された新しいビデオカメラ記録フォーマット(規格)の名称です。

エーブイシーレック

AVCREC

高精細なハイビジョン映像をハイビジョン画質のまま DVD に記録できるように開発された新しい記録フォーマット (規格) の名称です。
DVD 機器で再生するには、記録したディスクの AVCREC 方式の再生に対応している必要があります。

B

ビーディー　ジェイ

BD-J

BDビデオにはJAVAアプリケーションを含むものがあり、そのアプリケーションはBD-Jと呼ばれます。通常のビデオの操作に加えて、いろいろなインタラクティブな機能を楽しむことができます。

ビーディー　ライブ

BD - Live

BD ビデオ(BD-ROM Profile 2)の新しい再生機能で、BONUSVIEW の機能に加え、インターネットに接続してインタラクティブな機能が楽しめます。

ビットストリーム

Bitstream

圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1chなどのサラウンド音声信号に戻されます。

ボーナスビュー　ファイナル　スタンダード　プロファイル

BONUSVIEW ™（Final Standard Profile ）

BDビデオ(BD-ROM Profile 1 version 1.1)の新しい機能で、ディスクに記録された本編以外の副映像などを楽しむことができます。

D

D映像端子

コンポーネント(色差)ビデオ信号と制御信号を1つにまとめた端子で、デジタル放送やDVDプレーヤーなどに対応しています。色信号の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の3つの信号に分け、それぞれの専用回路で信号処理し、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像がお楽しみいただけます。

ディーエルエヌエー　デジタル　リビング　ネットワーク　アライアンス

DLNA（Digital Living Network Alliance）

PC 業界と家電業界の企業により、ホームネットワーク環境でデジタルAV機器同士や、PCを相互に接続することを目的として結成された団体のことです。

ディビックス
DivX
DivX は DivX, Inc. が開発したメディア技術です。
DivX のメディアファイルは、高画質な映像のまま小さいサイズに圧縮して記録することができます。

ディーエヌエス
DNS サーバー
インターネット上で名前とIPアドレスを対応させる電話帳のような機能を持ったサーバーです。

ドルビー　デジタル
Dolby Digital
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2ch）はもちろん、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ドルビー　デジタル　プラス
Dolby Digital Plus
ドルビーデジタルの改良版で、さらなる高音質、5.1ch以上の多チャンネル、より広いビットレートを実現しています。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

ドルビー　トゥルーエイチディー
Dolby TrueHD
DVD オーディオで採用されている MLP ロスレスの機能拡張版でスタジオマスターの音声データを完全に再生する高品位な音声方式です。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

ディーティーエス　デジタル　シアター　システムズ
DTS （Digital Theater Systems）
映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

ディーティーエスエイチディー
DTS-HD
映画館で採用されている DTS をさらに高音質 / 高機能化した音声方式で、下位互換性により従来の AV アンプでも DTS として再生できます。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

ディーティーエスエイチディー　ハイ　レゾリューション　オーディオ
DTS-HD High Resolution Audio
従来の DTS、DTS-ES、DTS96/24 フォーマットを改良した信号フォーマットで、サンプリング周波数の 96kHz/48kHz 対応しています。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

ディーティーエスエイチディー　マスター　オーディオ
DTS-HD Master Audio
ロスレス音声フォーマットで、最大 96kHz/7.1ch に対応し、さらにロスレス音声符号化技術によってマスター音声の忠実な再現を可能としています。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

エイチディーエムアイ　ハイ デフィニション　マルチメディア　インターフェース
Ⓗ HDMI （High-Definition Multimedia Interface）
HDMIとは、デジタル機器向けのインターフェースです。従来の接続と違い、1 本のケーブルで非圧縮のデジタル音声･映像信号を伝送することができます。

アイピー
Ⓘ I P アドレス
インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。ご家庭では、ブロードバンドルーターなどのDHCP機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。（例：192.168.0.87）

ジェイペグ　ジョイント　フォトグラフィック　エキスパーツ　グループ
Ⓙ JPEG（Joint Photographic Experts Group）
カラー静止画を圧縮、展開する規格の1つです。デジタルカメラなどで保存形式として JPEG を選ぶと、元のデータ容量の 1/10 ～ 1/100 に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

ラン　ローカル　エリア　ネットワーク
Ⓛ LAN（Local Area Network）
社内や学校内、家庭内など、一定範囲内のネットワークのことです。

エルピーシーエム　ピーシーエム
LPCM （リニア PCM ）
CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

ロウ　トゥー　ハイ
LTH（Low to High）
有機色素系媒体を用いて記録するブルーレイディスクの新規格です。

エムペグ　ムービング　ピクチャー　エキスパーツ　グループ
Ⓜ MPEG2（Moving Picture Experts Group）
カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。
MPEG2は デジタル放送や DVD などに使われる圧縮方式です。

エムピー　エムペグ
MP3（MPEG オーディオレイヤー 3）
音質を大きく損なうこと無しにサイズを約 1/10 に圧縮する音声圧縮方法です。

ピーシーエム　パルス　コード　モジュレーション
Ⓟ PCM （Pulse Code Modulation）
アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の1つです。「パルス･コード･モジュレーション：パルス符号変調」の略で、手軽にデジタル音声が楽しめます。

① 1080p、1080i、720p、480p、480i
映像信号の有効走査線数と走査方式の略称を表しています。有効走査線数は、実際の画面を構成する走査線数のことをいいます。インターレース（i= 飛び越し走査）は、1 行おきに走査する方式です。プログレッシブ（p= 順次走査）は、上から順に走査する方式で、インターレースよりちらつきの少ない画像になります。
また、1080p、1080i、720p、480p、480i の表示は総走査線数にあたる 1125p、1125i、750p、525p、525i と表示されることもあります。

② 24p
24 コマ / 秒で記録されたプログレッシブ（順次走査）方式です。

必要なとき

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	動作時：約 17 W 待機時 （クイックスタート「切」）：約 0.4 W 待機時 （クイックスタート「入」）：約 5.0 W

本体

寸法	幅 430 mm× 高さ 49 mm× 奥行き 242 mm（突起部を含まず） 幅 430 mm× 高さ 49 mm× 奥行き 249 m（突起部を含む）
質量	約 2.6 kg
許容周囲温度	5 ℃～35 ℃
許容相対湿度	10 %～80 %RH （結露なきこと）
映像方式	NTSC 方式、有効走査線数 525本、60フィールド
SDカードスロット	1系統
LAN 端子	1系統（10BASE-T/100BASE-TX）

DISC 部

リージョンコード	DVD： ＃2 BD： Region A
再生可能なディスク	●BD-RE SL(SL: 片面 1 層)： 2X SPEED（Ver.2.1 準拠）25 GB （1X SPEED Ver.1.0 は非対応） ●BD-RE DL(DL: 片面 2 層)： 2X SPEED（Ver.2.1 準拠）50 GB （1X SPEED Ver.1.0 は非対応） ●BD-R SL(SL: 片面 1 層)： 2X SPEED LTH type（Ver.1.2 準拠）25 GB 2X SPEED（Ver.1.1 準拠）25 GB 4X SPEED（Ver.1.2 準拠）25 GB 6X SPEED（Ver.1.3 準拠）25 GB ●BD-R DL(DL: 片面 2 層)： 2X SPEED（Ver.1.1 準拠）50 GB 4X SPEED（Ver.1.2 準拠）50 GB 6X SPEED（Ver.1.3 準拠）50 GB ●BD-Video（BD-Live 対応） ●CD-Audio： CD-DA ●CD-R/CD-RW：CD-DA、JPEG/MP3/DivX フォーマット記録ディスク※1 ●DVD-RAM※2：DVDビデオレコーディング規格準拠、AVCREC 規格準拠、AVCHD 規格準拠 ●DVD-R、DVD-R DL（片面2層）：DVDビデオレコーディング規格準拠、DVDビデオ規格準拠※3、AVCREC 規格準拠※3、AVCHD 規格準拠※3、JPEG/MP3/DivX フォーマット記録ディスク※1 ●DVD-RW：DVDビデオレコーディング規格準拠、DVDビデオ規格準拠※3、AVCHD 規格準拠※3 ●+R、+R DL（片面2層）、+RW：DVDビデオ規格準拠※3、AVCHD 規格準拠※3 ●DVD-Video： DVDビデオ規格準拠

※ 1 対応フォーマット
–ISO9660 level1 と 2（拡張フォーマットは除く）、Joliet 対応
–マルチセッション対応
–パケットライト方式非対応
※ 2 カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出してお使いください。
※ 3 他の機器で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズが必要です。

SD部

スロット	SDメモリーカード
対応カード	SDメモリーカード※1、※2、※3、※4

●使用可能容量は少なくなることがあります。
※ 1 SDHCメモリーカードを含む。（Class非対応）
※ 2 miniSDカードを含む。（miniSDアダプター装着時）
※ 3 microSDカードを含む。（microSDアダプター装着時）
※ 4 microSDHC カードを含む。（microSDHC アダプター装着時）

SDカード機能/静止画（JPEG）

対応フォーマット	FAT12、FAT16、FAT32※1
画像ファイル形式	●JPEGベースライン方式 (DCF 準拠) ●DPOF対応
画素数	34×34～8192×8192 サブサンプリング：4：2：2、4：2：0
解凍時間※2	約2秒（1010万画素、JPEG）

※ 1 ロングファイル名非対応。
※ 2 解凍時間は使用環境（ファイル数・圧縮率など）によって多少長くなることがあります。

SDカード機能/動画（MPEG-2）

ファイル形式	SD VIDEO規格準拠
圧縮方式	MPEG-2

SDカード機能/動画（AVCHD）

ファイル形式	AVCHD規格準拠
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264

音楽

再生可能なメディア	●CD-Audio（CD-DA）●CD-R/CD-RW ●DVD-R/DVD-R DL
対応ビットレート	32 kbps ～ 320 kbps
サンプリング周波数	44.1 kHz/48 kHz

写真 (JPEG)

再生可能なメディア	●BD-RE ●DVD-RAM ●DVD-R/DVD-R DL ●CD-R/CD-RW ●SD カード
ファイル方式	JPEG ベースライン方式 (DCF 準拠) ●ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル（半角英数字のみ） ●MOTION JPEG 非対応
画素数	34×34 ～ 8192×8192 サブサンプリング：4：2：2、4：2：0
フォルダ数※1	CD-R/CD-RW ： ディスク上にルートを含む最大 99 フォルダ BD-RE、DVD-RAM、DVD-R/DVD-R DL、SD カード： 上位フォルダを含む最大 300 フォルダ
ファイル数※2	CD-R/CD-RW：ディスク上の最大 999 ファイル BD-RE： 最大 9999 ファイル DVD-RAM、DVD-R/DVD-R DL、SD カード：最大 3000 ファイル

※ 1 (BD-RE/DVD-RAM/DVD-R/DVD-R DL/CD-R/CD-RW)
最大フォルダ数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大フォルダ数（ルートもフォルダとして数える）
※ 2 (BD-RE/DVD-RAM/DVD-R/DVD-R DL/CD-R/CD-RW)
最大ファイル数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大ファイル数（JPEG 以外のファイルとの合計とする）

DivX

再生可能なメディア	●DVD-R/DVD-R DL ●CD-R/CD-RW
画素数	32×32 ～ 720×576
フォルダ数	ディスク上にルートを含む最大 300 フォルダ
ファイル数	最大 200 ファイル

映像

映像出力	出力端子： （1 系統）ピンジャック 出力レベル： 1.0 Vp-p (75 Ω)
コンポーネント端子映像出力 / D 端子映像出力	出力端子： （1 系統）ピンジャック （Y: 緑、CB/PB: 青、CR/PR: 赤） D 端子： （1 系統） Y 出力レベル： 1.0 Vp-p (75 Ω) CB/PB 出力レベル： 0.7 Vp-p (75 Ω) CR/PR 出力レベル： 0.7 Vp-p (75 Ω)
HDMI 映像・音声出力	出力端子 ：1系統（19ピン typeA端子） HDMI[本機はビエラリンク (HDMI)Ver.4 に対応しています]（480p/1080i/720p/1080p）
映像性能	水平解像度： 500 本以上 S/N 比： 65 dB 以上

音声

アナログ出力	出力端子： 2 ch 出力 1 系統（ピンジャック） 出力レベル：2 Vrms (1 kHz, 0 dB)
チャンネル数	再生：2ch HDMI 出力：最大 7.1ch 光デジタル出力：最大 5.1ch(Bitstream)
デジタル出力	光デジタル音声出力端子：1系統 （PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG-2 AAC対応） HDMI 映像・音声出力端子：1系統 （PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG-2 AAC対応） （Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD Master Audio、DTS-HD High Resolution Audio 対応、対応アンプに接続時のみ Bitstream 出力可能）
音声出力特性	周波数特性 ●DVD（リニア音声）： 4 Hz ～ 22 kHz（48 kHz サンプリング) 4 Hz ～ 44 kHz（96 kHz サンプリング) ●CD audio： 4 Hz ～ 20 kHz S/N 比： 115 dB ダイナミックレンジ： 100 dB 全高調波歪率： 0.003 %

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
●	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグを抜く

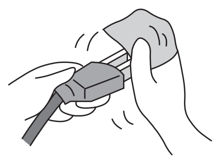
異常があったときには、電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

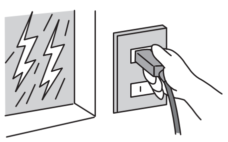


プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

接触禁止



感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

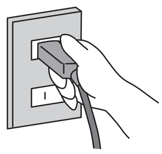
内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

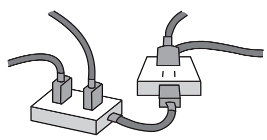
電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

本機のイラスト（姿図）は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

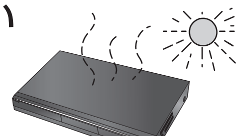
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

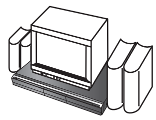
⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない



外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

放熱を妨げない



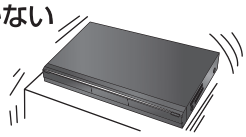
内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。
- 後面の内部冷却用ファンや側面の通風孔をふさがないでください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

・高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない



倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

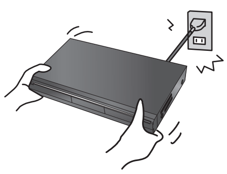
液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

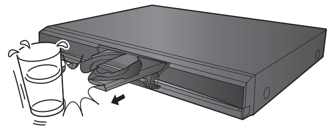
長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
- ディスクは、保護のため取り出しておいてください。

⚠ 注意

機器の前にものを置かない



リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、
開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。
- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■ 補修用性能部品の保有期間 ８年
当社は、このブルーレイディスクプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき
「故障かな!?」（⇒ 40 ～43）に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

● 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容			
製　品　名	ブルーレイディスクプレーヤー	お買い上げ日	年　月　日
品　　番	DMP-BD60	故障の状況	できるだけ具体的に

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

修理に関するご相談

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）
■ 携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**
FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック

修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9700
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎(025)286-0180

中部地区

	所在地	電話番号
石川	金沢市玉鉾2丁目266番地	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)254-5520

近畿地区

	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	天草市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

1108

さくいん

CLUB Panasonic　ご愛用者登録について

「ご愛用者登録」のご案内

弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方にご愛用者登録をお願いしています。
ぜひ、この機会にご愛用者登録をお願いいたします。
※皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきたいと思いますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご登録特典１	**家電情報をまとめて登録／管理** 購入年月や製造番号などをＭｙ家電リストに保存できます。
ご登録特典２	**商品情報をスムーズに入手** Ｑ&Ａや取扱説明書など、商品に関する情報が見られます。
ご登録特典３	**エンジョイポイントがたまる** たまったポイントでプレゼントに応募できます。

ご登録手順　下記のどちらかを選んでください。

パソコンからの登録方法

次のアドレスにアクセスしてください。

http://club.panasonic.jp/

携帯電話からの登録方法

1　二次元バーコードでアクセス

2　次のアドレスにアクセスしてください。

http://mobile.club.panasonic.jp/

※携帯電話から登録する場合は、携帯電話のメールアドレスが必要です。

■お問い合わせ先：CLUB Panasonic事務局（club-info@panasonic.jp）

ーこのマークがある場合はー



ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

愛情点検　長年ご使用のブルーレイディスクプレーヤーの点検を！



こんな症状はありませんか		ご使用中止	
	● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 映像や音声が出ないことがある ● 内部に水や異物が入った ● 本体に変形や破損した部分がある ● その他の異常や故障がある	▶	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	販売店名	
品番	DMP-BD60		電話（　　　）　　ー

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒 571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQT9411-2S
F0309SK1089